

(様式第10)

厚生労働大臣 加藤 勝信 殿

国がん発 21665 号  
令和 4 年 10 月 4 日  
開設者名 国立研究開発法人  
国立がん研究センター  
理事長 中釜 斉

国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1
氏名	国立研究開発法人国立がん研究センター

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院
------------------------

3 所在の場所

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1
電話 ( 03 ) 3542 - 2511

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
○	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
○	1 呼吸器内科	○	2 消化器内科	○	3 循環器内科		4 腎臓内科
	5 神経内科	○	6 血液内科		7 内分泌内科		8 代謝内科
	9 感染症内科		10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11 リウマチ科
診療実績							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

## (2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1 呼吸器外科	○	2 消化器外科	○	3 乳腺外科		4 心臓外科
	5 血管外科		6 心臓血管外科		7 内分泌外科	○	8 小児外科
診療実績							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

## (3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1 精神科	○	2 小児科	○	3 整形外科	○	4 脳神経外科
○	5 皮膚科	○	6 泌尿器科		7 産婦人科		8 産科
○	9 婦人科	○	10 眼科	○	11 耳鼻咽喉科	○	12 放射線科
	13 放射線診断科		14 放射線治療科	○	15 麻酔科		16 救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

## (4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1 小児歯科		2 矯正歯科	○	3 歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

## (5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	形成外科	2	病理診断科	3	緩和ケア内科	4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

## 5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
				578	578

(単位：床)

## 6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	356	27.1	383.1
歯科医師	2	1.5	3.5
薬剤師	81	0.4	81.4
保健師	0	0	0
助産師	0	0	0
看護師	704	14.1	718.1
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	4	0.9	4.9
管理栄養士	8	0	8

職種	員数
看護補助者	41
理学療法士	4
作業療法士	3
視能訓練士	1
義肢装具士	0
臨床工学士	14
栄養士	0
歯科技工士	1
診療放射線技師	80

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	87
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	9	
その他の技術員	105	
事務職員	205	
その他の職員	183	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含まないで記入すること。  
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

## 7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	54	眼科専門医	1
外科専門医	67	耳鼻咽喉科専門医	4
精神科専門医	3	放射線科専門医	27
小児科専門医	7	脳神経外科専門医	5
皮膚科専門医	4	整形外科専門医	11
泌尿器科専門医	7	麻酔科専門医	8
産婦人科専門医	4	救急科専門医	1
		合計	203

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

## 8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 島田 和明 ) 任命年月日 令和 2 年 4 月 1 日

平成26年7月から、診療科長としてリスクマネージャー業務を遂行し診療科内の医療安全管理業務に携わり、加えて、診療担当副院長として医療事故等防止対策委員会委員の業務経験がある。  
令和2年4月以降は、病院長として、医療事故等防止対策委員会委員長の業務に携わっている。

## 9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	503.4 人	0 人	503.4 人
1日当たり平均外来患者数	1483.5 人	67.6 人	1551.1 人
1日当たり平均調剤数		3408.6	剤
必要医師数		138	人
必要歯科医師数		2	人
必要薬剤師数		17	人
必要(准)看護師数		304	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

て4レ以上の診療科を又診した患者数を記入すること。

- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	216.7 m <sup>2</sup>	鉄骨構造	病床数	8床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	472.42	m <sup>2</sup>	病床数	39床
	[移動式の場合]	台数		台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	55.46		m <sup>2</sup>	
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	662.9 m <sup>2</sup>	鉄骨構造	(主な設備)	多項目自動血球分析装置、血液凝固測定装置、全自動免疫化学分析測定装置、全自動化学発光測定装置、生化学用自動分析装置、全自動薬物濃度測定装置、尿自動分析装置		
細菌検査室	161.04 m <sup>2</sup>	鉄骨構造	(主な設備)	同定・薬剤感受性パネル自動測定装置、血液培養自動分析装置		
病理検査室	490.59 m <sup>2</sup>	鉄骨構造	(主な設備)	自動染色装置、自動免疫染色装置、凍結切片作製装置、自動封入装置、密閉式自動固定包埋装置、対面作業用下降流プッシュプル型換気装置		
病理解剖室	142.15 m <sup>2</sup>	鉄骨構造	(主な設備)	ホルマリン作製装置		
研究室	38936 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	遺伝子導入装置、ゲル撮影装置、画像診断装置、細胞解析装置		
講義室	887.03 m <sup>2</sup>	鉄骨構造	室数	4室	収容定員	50~300人
図書室	376.64 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	1室	蔵書数	9万冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	92.6	%	逆紹介率	92.1	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		9,470人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		9,418人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		0人		
	D: 初診の患者の数		10,222人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況

山本 修一	地域医療機能推進機構 理事長 千葉大学大学院医学研究院眼科学前教授 千葉大学医学部附属病院前病院長	○	特定機能病院の前管理者であり、医療に係る安全管理に関する識見を有する。	無	1
川崎 志保理	順天堂大学医学部附属順天堂医院 医療安全推進部 部長補佐		特定機能病院の医療安全管理部門に所属し、医療に係る安全管理に関する識見を有する。	無	1
田島 優子	さわやか法律事務所 弁護士		弁護士として政府の諮問機関等医療問題に関わっており、医療に係る法律に関する識見を有する	無	1
眞島 喜幸	NPO法人パンキャンジャパン 理事長		り、医療を受ける者として医療関連学会等の構成員を務められ、医療に係る安全に関する識見を有する	無	2
荒井 保明	国立がん研究センター 客員研究員 国立がん研究センター 前理事長特任補佐 国立がん研究センター中央病院元病院長		当院の元管理者であり、医療に係る安全管理に関する識見を有する	有	1

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
  2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
  3. その他

### 13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
病院ホームページへ記載	



## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 (肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。))	0
経皮的乳がんラジオ波焼灼療法 (早期乳がん(長径が一・五センチメートル以下のものに限る。))	0
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 (成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。))	3
術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法 (切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃がん(HER2が陽性のものに限る。))	0
テモゾロミド用量強化療法 (膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。))	2
術後のカペシタビン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法 (小腸腺がん(ステージがI期、II期又はIII期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。))	1
術後のアスピリン経口投与療法 (下部直腸を除く大腸がん(ステージがIII期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。))	76
プローブ型共焦点レーザー顕微内視鏡による胃上皮性病変の診断 (胃上皮性病変)	0
周術期デュルバルマブ静脈内投与療法 (肺尖部胸壁浸潤がん(化学放射線療法後のものであって、同側肺門リンパ節・縦隔リンパ節転移、同一肺葉内・同側の異なる肺葉内の肺内転移及び遠隔転移のないものに限る))	4
マルチプレックス遺伝子パネル検査 (進行再発固形がん(非小細胞肺がん、乳がん、胃がん、大腸がん、膵がん又は胆道がんに限る。))	93
メトホルン経口投与及びテモゾロミド経口投与の併用療法 (膠芽腫(初発のものであって、テモゾロミド経口投与及び放射線治療の併用療法後のものに限る))	6
シクロホスファミド静脈内投与療法 (成人T細胞白血病(末梢血幹細胞の非血縁者間移植が行われたものに限る))	2
イマチニブ経口投与及びペムブロリズマブ静脈内投与の併用療法 (進行期悪性黒色腫(KIT遺伝子変異を有するものであって、従来の治療法に抵抗性を有するものに限る))	0
先進医療の種類合計数	13
扱い患者数の合計(人)	187

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示

第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要 該当なし	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
取扱い患者数の合計(人)	0

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	筋萎縮性側索硬化症	3	56	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	3
2	パーキンソン病	31	57	強直性脊椎炎	2
3	シャルコー・マリー・トゥース病	1	58	リンパ管腫症/ゴーハム病	1
4	重症筋無力症	9	59	胆道閉鎖症	1
5	多発性硬化症/視神経脊髄炎	5	60	IgG4関連疾患	2
6	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	1	61	黄斑ジストロフィー	1
7	もやもや病	2	62	好酸球性副鼻腔炎	2
8	進行性多巣性白質脳症	2	63		
9	神経線維腫症	7	64		
10	表皮水疱症	1	65		
11	スティーヴンス・ジョンソン症候群	10	66		
12	中毒性表皮壊死症	1	67		
13	結節性多発動脈炎	1	68		
14	悪性関節リウマチ	1	69		
15	バージャー病	3	70		
16	全身性エリテマトーデス	12	71		
17	皮膚筋炎/多発性筋炎	10	72		
18	混合性結合組織病	2	73		
19	シェーグレン症候群	443	74		
20	ベーチェット病	8	75		
21	特発性拡張型心筋症	9	76		
22	肥大型心筋症	20	77		
23	再生不良性貧血	14	78		
24	自己免疫性溶血性貧血	59	79		
25	特発性血小板減少性紫斑病	60	80		
26	血栓性血小板減少性紫斑病	2	81		
27	IgA腎症	3	82		
28	多発性嚢胞腎	2	83		
29	後縦靭帯骨化症	6	84		
30	広範脊柱管狭窄症	1	85		
31	特発性大腿骨頭壊死症	3	86		
32	下垂体性PRL分泌亢進症	1	87		
33	クッシング病	1	88		
34	アジソン病	3	89		
35	サルコイドーシス	6	90		
36	特発性間質性肺炎	20	91		
37	肺動脈性肺高血圧症	1	92		
38	バッド・キアリ症候群	1	93		
39	特発性門脈圧亢進症	1	94		
40	原発性胆汁性胆管炎	3	95		
41	自己免疫性肝炎	8	96		
42	クローン病	4	97		
43	潰瘍性大腸炎	65	98		
44	遺伝性周期性四肢麻痺	1	99		
45	脊髄空洞症	2	100		
46	遺伝性ジストニア	1	101		
47	結節性硬化症	2	102		
48	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	3	103		
49	マルファン症候群	1	104		
50	ウイルソン病	2	105		
51	急速進行性糸球体腎炎	1	106		
52	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	107		
53	閉塞性細気管支炎	98	108		
54	副甲状腺機能低下症	63	109		
55	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4	110		

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	62
合計患者数(人)	1037

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・情報通信機器を用いた診療にかかる基準 情報通信機器を用いた診療にかかる基準	・入退院支援加算1
・特定機能病院入院基本料(7対1)	・入院時支援加算
・診療録管理体制加算1	・総合機能評価加算
・医師事務作業補助体制加算2(20対1)	・認知症ケア加算1
・(25対1未)急性期看護補助体制加算	・特定集中治療室管理料1
・夜間100対1急性期看護補助体制加算	・早期離床・リハビリテーション加算
・夜間看護体制加算	・早期栄養介入管理加算
・看護補助体制充実加算	・小児入院医療管理料3
・看護職員夜間配置加算(16対1配置加算1)	・プレイルーム加算
・療養環境加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・重症者等療養環境特別加算	・排尿自立支援
・無菌治療室管理加算1	・報告書管理体制加算
・無菌治療室管理加算2	・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)
・緩和ケア診療加算	・放射線治療病室管理加算(密封小線源による場合)
・がん拠点病院加算	・地域歯科診療支援病院歯科初診料
・栄養サポートチーム加算	・歯科外来診療環境体制加算2
・医療安全対策加算1	・
・感染対策向上加算1	・
・指導強化加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・呼吸ケアチーム加算	・
・後発医薬品使用体制加算1	・
・病棟薬剤業務実施加算1	・
・病棟薬剤業務実施加算2	・
・データ提出加算2イ	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・がん性疼痛緩和指導管理料	・神経学的検査
・がん患者指導管理料イ	・遺伝カウンセリング加算
・がん患者指導管理料ロ	・内服・点滴誘発試験
・がん患者指導管理料ハ	・骨髄微小残存病変量測定
・がん患者指導管理料ニ	・がんゲノムプロファイリング検査
・外来緩和ケア管理料	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・BRCA1/2遺伝子検査
・外来リハビリテーション診療料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
・外来放射線照射診療料	・経気管支凍結生検法
・ニコチン依存症管理料	・CT透視下気管支鏡検査加算
・療養・就労両立支援指導料 注3)に規定する相談支援加算	・画像診断管理加算1
・がん治療連携計画策定料1	・画像診断管理加算3
・がん治療連携管理料	・ポジトロン断層撮影
・外来がん患者在宅連携指導料	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・外来排尿自立指導加算	・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影
・薬剤管理指導料	・CT撮影及びMRI撮影
・医療機器安全管理料1	・大腸CT撮影加算
・医療機器安全管理料2	・乳房MRI撮影加算
・外来腫瘍化学療法診療料1	・頭部MRI撮影加算
・外来腫瘍化学療法診療料1 注6)連携充実加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・外来化学療法加算1
・造血器腫瘍遺伝子検査	・無菌製剤処理料
・遺伝学的検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・廃用症候群リハビリテーション料(Ⅱ)
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・国際標準検査管理加算	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・がん患者リハビリテーション料	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
・リンパ浮腫複合的治療料	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)
・センチネルリンパ節加算	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に規定する処理骨再建加算
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩廓清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩廓清を伴うもの))	・腹腔鏡下腭頭部腫瘍切除術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・腹腔鏡下腭体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下陰式子宮全摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・腹腔鏡下肝切除術	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術

・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・人工尿道括約筋植込・置換術	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・輸血管理料 I	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・輸血適正使用加算	・麻酔管理料( I )
・コーディネート体制充実加算	・麻酔管理料( II )
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・放射線治療専任加算

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
---------	---------

・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	・
・画像誘導密封小線源治療加算	・
・定位放射線治療	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・
・保険医療機関間の連携による病理診断	・
・病理診断管理加算2	・
・悪性腫瘍病理組織標本加算	・
・歯科口腔リハビリテーション料2	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・
・手術時歯根面レーザー応用加算	・

・クラウン・ブリッジ維持管理料	・
・口腔粘膜処置	・
・レーザー機器加算	・
・歯科治療時医療管理料	・
・歯科技工加算	・
・精密触覚機能検査	・
・有床義歯咀嚼機能検査1	・
・	・
・	・
・	・





## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
遺伝子パネル検査を超えるコンビネーション医療機器開発:ボーダーレス遺伝子検査(繰越し)	山本昇	先端医療科	13,000,000	委	AMED
がん領域Clinical Innovation Network事業による超希少がんの臨床開発と基盤整備を行う総合研究	米盛勸	腫瘍内科	1,001,000	委	AMED
TERTを標的とした再発膠芽腫に対するエリブリンの医師主導治験	成田善孝	脳脊髄腫瘍科	38,985,000	委	AMED
局所進行食道癌に対する新しい術前治療を確立する研究	加藤健	頭頸部・食道内科	9,305,000	委	AMED
EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブまたはオシメルチニブ単剤療法とゲフィチニブまたはオシメルチニブにシスプラチン+ベトレキセドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験	大江裕一郎	呼吸器内科	10,400,000	委	AMED
進行胃癌を対象とした大網切除に対する大網温存の非劣性を検証するランダム化比較第III相試験	吉川貴己	胃外科	17,400,000	委	AMED
進行・再発子宮頸癌の予後向上を目指した集学的治療の開発	石川光也	婦人腫瘍科	3,250,000	委	AMED
TCR多様性に基づく免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測に関する研究	吉田達哉	呼吸器内科	9,100,000	委	AMED
血中マイクロRNAがんマーカーの検診コホートにおける性能検証研究	加藤健	頭頸部・食道内科	31,590,000	委	AMED
ゲノム解析に基づいた造血細胞移植後2次固形がん最適個別化医療の実現	森泰昌	病理診断科	23,400,000	委	AMED
ゲノム医療時代における、がんの遺伝学的中間高リスク群の把握と評価手順の標準化をめざした多施設共同臨床疫学的研究	吉田輝彦	遺伝子診療部門	54,990,000	委	AMED
進行期固形がん患者における初回治療時のがん遺伝子プロファイリング検査の臨床的有用性を検討する臨床研究	吉田達哉	呼吸器内科	26,000,000	委	AMED
Stage III治癒切除大腸癌に対する術後補助療法としてのアスピリンの有用性を検証する二重盲検ランダム化比較試験	高島淳生	消化管内科	19,380,000	委	AMED
非浸潤または小型非小細胞肺癌に対する機能温存手術の確立に関する研究	渡辺俊一	呼吸器外科	7,800,000	委	AMED
オピオイド不応の神経障害性疼痛に対するプレガバリンとデュロキセチンの国際共同ランダム化比較試験	松岡弘道	精神腫瘍科	18,199,999	委	AMED
小腸腺癌に対する標準治療の確立に関する研究	金光幸秀	大腸外科	17,495,000	委	AMED
成人T細胞白血病に対する移植後シクロフォスファミドを用いた非血縁者間末梢血細胞移植法の確立と移植後再発への対策に関する研究	福田隆浩	造血幹細胞移植科	43,543,000	委	AMED
消化器神経内分泌癌に対する標準治療の確立に関する研究	森実千種	肝胆膵内科	7,020,000	委	AMED
遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく複数の標的治療に関する患者申出療養の実施体制構築	下井辰徳	腫瘍内科	18,200,000	委	AMED
がん幹細胞を標的とした初発膠芽腫の放射線+テモゾロミド+メトホルミン併用療法の第I・II相臨床試験	成田善孝	脳脊髄腫瘍科	18,200,000	委	AMED
切除可能胆道癌に対する術前補助化学療法としてのゲムシタピン+シスプラチン+S-1(GCS)療法の第III相試験	奥坂拓志	肝胆膵内科	15,498,011	委	AMED
遺伝子パネル検査を超えるコンビネーション医療機器開発:ボーダーレス遺伝子検査	山本昇	先端医療科	39,000,000	委	AMED
産学連携全国がんゲノムスクリーニング(SCRUM-Japan)患者レジストリを活用したHER2陽性の切除不能または再発胆道癌に対する医師主導治験	森実千種	肝胆膵内科	40,000,000	委	AMED
小児・AYAがんに対する国内開発のEZH1/2阻害剤の臨床開発(医師主導治験)	小川千登世	小児腫瘍科	50,700,000	委	AMED
8Kスーパーハイビジョン技術を用いた新しい遠隔手術支援型内視鏡(硬性鏡)手術システムの開発と高精細映像データの利活用に関する研究開発	金光幸秀	大腸外科	140,809,000	委	AMED
切除不能局所進行食道癌に対する標準治療確立のための研究	大幸宏幸	食道外科	16,220,000	委	AMED
せん妄ハイリスクがん患者の術後せん妄予防におけるラメルテオンの有効性と安全性に関する多施設共同二重盲検プラセボ対照ランダム化比較試験	松岡弘道	精神腫瘍科	26,799,500	委	AMED
がん全ゲノム解析の患者還元構築に関する研究	山本昇	先端医療科	166,135,320	委	AMED
早期開発から後期開発までのシームレスな研究開発支援体制構築事業(繰越し)	島田和明	中央病院	100,659,500	補	AMED
早期開発から後期開発までのシームレスな研究開発支援体制構築事業	島田和明	中央病院	200,000,000	補	AMED
アジア地域における臨床研究・治験ネットワークの構築事業	島田和明	中央病院	1,223,986,902	補	AMED

アジアがん臨床試験ネットワーク構築に関する事業	島田和明	中央病院	214,695,000	補	AMED
終末期がん患者の家族介護者のレジリエンスと死別後の精神的健康への影響に関する研究	清水陽一	看護部	705,867	補	日本学術振興会
造血細胞移植後の晩期障害のバイオマーカーと病態解明	稲本賢弘	造血幹細胞移植科	2,452,604	補	日本学術振興会
チェレンコフ光を用いたリアルタイム放射線治療精度評価システムの構築	岡本裕之	放射線治療科	429,096	補	日本学術振興会
ポリマーゲル線量計を用いた線量検証システムの開発	飯島康太郎	放射線品質管理室	816,543	補	日本学術振興会
がん医療に携わる心理職を養成するための教育・研修システムの構築	柳井優子	精神腫瘍科	2,348,853	補	日本学術振興会
フローサイトメトリーによる成熟リンパ系腫瘍の微小残存病変検出系の確立	松下弘道	病理・臨床検査科	1,556,287	補	日本学術振興会
人工知能開発研究に資するマルチモーダルな医用画像データベース基盤構築	三宅基隆	放射線診断科	3,428,480	補	日本学術振興会
IPMNに対する良悪性診断と術後再発リスク因子の提唱	脇岡範	肝胆脾内科	912,467	補	日本学術振興会
消化管がんの末梢循環腫瘍細胞を用いた精密医療	庄司広和	消化管内科	2,374,757	補	日本学術振興会
悪性脳腫瘍におけるAPTイメージングの有用性の確立と臨床応用	大野誠	脊髄腫瘍科	2,445,875	補	日本学術振興会
肉腫の分化を標的とした新規治療開発	小林英介	骨軟部腫瘍科	2,036,115	補	日本学術振興会
希少かつ予後不良な子宮体癌の発生・進展機序の解明及び治療標的の同定	吉田裕	病理科	2,633,191	補	日本学術振興会
可変型マルチチャンネルアプリケーションを用いた強度変調小線源治療法の開発	千葉貴仁	放射線品質管理室	2,077,580	補	日本学術振興会
ホウ素中性子捕捉療法における適正な治療効果予測法の確立	中村哲志	放射線品質管理室	2,204,427	補	日本学術振興会
肺がん化学放射線治療後の免疫チェックポイント阻害薬の効果予測に関する研究	稲葉浩二	放射線治療科	3,350,788	補	日本学術振興会
食道がん患者に対する運動療法と栄養療法の併用療法による新たな治療戦略の開発	福島卓矢	骨軟部・リハビリテーション科	685,906	補	日本学術振興会
がんゲノム医療と遺伝性腫瘍に対する患者・医療者の心理的ストレスに関する研究	田辺記子	遺伝子診療部門	1,726,962	補	日本学術振興会
RSPO融合遺伝子陽性大腸癌の臨床病理学的特徴の解析	橋本大輝	病理診断科	2,043,094	補	日本学術振興会
頭頸部がんのクロマチンアクセシビリティ解析による薬剤応答性新規細胞重集団の特定	森泰昌	病理診断科	1,655,860	補	日本学術振興会
十二指腸癌発生過程の分子病理学的解析	関根茂樹	病理診断科	1,497,501	補	日本学術振興会
TERTを標的とした悪性髄膜腫の新規治療法開発	高橋雅道	脳脊髄腫瘍科	1,582,690	補	日本学術振興会
リンチ症候群疑い子宮内膜がん症例に対するスクリーニング手法の検討	石川光也	婦人腫瘍科	1,974,272	補	日本学術振興会
がん関連症状へのケアに関する科学的根拠に基づいた実践の促進プログラムの開発	清水陽一	看護部	1,702,567	補	日本学術振興会
皮膚付属器腫瘍におけるSOX9の発現の検討と、その分子メカニズムの解析	西村優基	病理診断科	1,969,221	補	日本学術振興会
希少がんPatient-Derived Xenograftを用いた薬剤開発	小島勇貴	乳腺・腫瘍内科	1,317,204	補	日本学術振興会
AYA世代がん患者の早期症状緩和と心理社会的支援に関するスクリーニング法の開発	平山貴敏	精神腫瘍科	1,229,530	補	日本学術振興会
微量検体プロテオゲノミクス解析による消化管原発神経内分泌癌の病態解明	平野秀和	消化管内科	2,253,799	補	日本学術振興会
肺癌の新規バイオマーカーMSI-High・NTRKの臨床応用性に関する探索的検討	四倉正也	呼吸器外科	2,091,365	補	日本学術振興会
ゲノムの詳細解析に基づく若年肺癌発生分子機序の解明	角南久仁子	臨床検査科	2,893,200	補	日本学術振興会
子宮体部類内膜癌Grade3に対する治療標的となる遺伝子異常の同定	加藤真弓	婦人腫瘍科	2,495,349	補	日本学術振興会
放射線療法に伴う味覚障害の唾液メタボローム解析による病態解明と治療への応用	八岡和歌子	歯科	1,091,720	補	日本学術振興会
がん遺伝子パネル検査の心理社会的影響と関連する患者の期待と医師の態度に関する研究	内富庸介	支持療法開発部門	3,291,258	補	日本学術振興会
血液中遺伝子変異情報に基づく相同組み換え欠損の新規モデル開発	渡辺智子	遺伝子診療部門	2,283,553	補	日本学術振興会
深層学習による患者生体データを用いた情動推定モデルの開発	後藤真一	支持療法開発部門	2,222,440	補	日本学術振興会
がん患者の最終段階を支える質問促進・意思決定モバイル介入:無作為化比較試験	内富庸介	支持療法開発部門	4,160,000	補	日本学術振興会
がん患者の最終段階を支える質問促進・意思決定モバイル介入:無作為化比較試験(繰越し)	内富庸介	支持療法開発部門	1,690,000	補	日本学術振興会
肺癌におけるKRAS変異機能の解析	谷田部恭	病理診断科	5,330,000	補	日本学術振興会
多層的遺伝子解析を用いた高悪性度軟部肉腫に対する個別化医療の開発	中谷文彦	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	9,100,000	補	日本学術振興会

多層的遺伝子解析を用いた高悪性度軟部肉腫に対する個別化医療の開発(繰越し)	中谷文彦	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	2,115,000	補	日本学術振興会
プロテオゲノミクスを用いた悪性骨軟部腫瘍の新たな診断・治療標的の探索	川井章	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	5,590,000	補	日本学術振興会
骨軟部腫瘍の病理診断に有用な免疫染色マーカーの開発	吉田朗彦	病理診断科	780,000	補	日本学術振興会
膵がん免疫微小環境における神経系の役割	平岡伸介	病理診断科	2,080,000	補	日本学術振興会
がん口腔支持医療における半夏瀉心湯の有用性を明らかにするための基礎及び臨床研究	上野尚雄	歯科	1,210,664	補	日本学術振興会
進行性疾患の患者と家族の食に関する苦悩への心理社会的アプローチと多職種連携ケア	天野晃滋	緩和医療科	1,300,000	補	日本学術振興会
がん患者の抑うつ低減のための行動活性化療法を用いたセルフヘルププログラムの開発	小川祐子	精神腫瘍科	1,300,000	補	日本学術振興会
シングルセル解析を用いた乳癌の腫瘍内不均一性の機序解明と新規治療戦略に関する研究	椎野翔	乳腺外科	1,300,000	補	日本学術振興会
胸部悪性腫瘍における急性炎症および悪液質による免疫抑制機構の解析	吉田達哉	呼吸器内科	2,340,000	補	日本学術振興会
悪性黒色腫におけるALDH2遺伝子多型の発症と子後に関する影響の解明	緒方大	皮膚腫瘍科	1,170,000	補	日本学術振興会
頭頸部皮弁癌のゲノム解析による発癌メカニズムの解明	江口絃太郎	頭頸部外科	1,430,000	補	日本学術振興会
使用デバイスと麻酔法の工夫による低侵襲で安全かつ確実な気管支鏡検査法の確立	内村圭吾	内視鏡科	538,468	補	日本学術振興会
移植筋体における神経二重支配のメカニズムの解明	中山大輔	形成外科	303,030	補	日本学術振興会
癌出と上皮間葉移行に注目した早期口腔癌のリンパ節転移予測	坂井利彦	頭頸部外科	1,963,762	補	日本学術振興会
AYA世代のがん疼痛治療選択のためのバイオマーカー探索と新たながん疼痛治療の開発	松岡弘道	精神腫瘍科	1,430,000	補	日本学術振興会
骨髄バンクドナーの環境整備とコーディネートプロセスの効率化による造血幹細胞移植の最適な機会提供に関する研究	福田隆浩	造血幹細胞移植科	8,485,000	補	厚労省
がんゲノム医療に携わる医師等の育成に資する研究	大江裕一郎	呼吸器内科	20,000,000	補	厚労省
遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく複数の標的治療に関する患者申出療養	山本昇	先端医療科	7,000,000	補	厚労省
がん患者の療養生活の最終段階における体系的な苦痛緩和法の構築に関する研究	里見絵理子	緩和医療科	10,000,000	補	厚労省
希少がんの情報提供・相談支援ネットワークの形成に関する研究	川井章	骨軟部腫瘍科・リハビリテーション科	4,200,000	補	厚労省
進行がん患者に対する効果的かつ効率的な意思決定支援に向けた研究	内富庸介	支持療法開発部門	12,000,000	補	厚労省
がん患者に対する質の高いアピアランスケアの実装に関する研究	藤間勝子	アピアランス支援センター	12,000,000	補	厚労省
乗車規制の国際調和における外部ステークホルダーの関与のあり方の研究	中村健一	国際開発部門	5,650,000	補	厚労省
卵巣明細胞がん患者由来circulating tumor DNAの遺伝子異常の検討	米盛勲	乳腺・腫瘍内科	3,250,000	補	公益財団法人小林財団
ヒト腫瘍組織におけるLATI発現とFBPA PETによるホウ素集積量の関連に関する研究	柏原大朗	放射線治療科	300,000	補	公益社団法人日本放射線腫瘍学会
生理学的薬物速度論モデルを利用したシトクロムP450の阻害剤及び誘導剤の抗がん薬への影響を評価するファーマコトキシコロジー研究	森田智子	臨床研究支援部門	500,000	補	公益財団法人がん研究振興財団
新規スプレーサーとしてのヒアルロン酸ナトリウムの研究開発(SpaceOAR との三次元分布の違いによる直腸線量低減効果・前立腺へ投与可能な放射線線量の幾何学的解析研究)	柏原大朗	放射線治療科	1,000,000	補	公益財団法人がん研究振興財団
コロナ禍におけるがん患者の在宅医療とアドバンスケアプランニングの実態調査	宮田佳代子	地域医療連携部	1,220,000	補	公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団
メサドンによる難治性がん疼痛治療に関する多施設共同前向き観察試験	里見絵理子	緩和医療科	1,500,000	補	公益財団法人日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団
2型糖尿病の治療が患者の心と体に及ぼす影響についての探索的研究Posttraumatic Growthの観点から	茅野綾子	精神腫瘍科	563,839	補	公益財団法人日本糖尿病協会
空間的ホログラフィーを利用した革新的手術ナビゲーションシステムの開発	岩田慎太郎	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	1,000,000	補	公益財団法人小林がん学術振興会
進行期悪性黒色腫に対する免疫チェックポイント阻害薬投与前後の血中循環腫瘍DNAに基づいた早期効果判定方法の探索	並川健二郎	皮膚腫瘍科	1,000,000	補	公益財団法人小林がん学術振興会
ウェアラブル端末を用いて放射線治療を安全に効果的に施行するための研究	飯島康太郎	放射線品質管理室	452,000	補	公益財団法人政策医療振興財団
Deep Learningbased Reconstructionを用いたX線CT画像の画質特性評価および患者の被ばく線量低減の可能性について	宮前裕太	放射線技術部放射線診断技術室	599,000	補	公益財団法人政策医療振興財団

がん診療病院におけるシクロホスファミド、イホスファミド投与時の体重管理及び尿測定・尿潜血確認等に関する指示内容の実態アンケート調査	宇田川涼子	薬剤部	584,400	補	公益財団法人政策医療振興財団
Ewing肉腫におけるERF変異の機能解析および治療標的の探索	小倉浩一	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	2,000,000	補	公益財団法人武田科学振興財団
高齢者施設における終末期緩和ケアの状況と問題点に関するアンケート調査	竹田雄馬	緩和医療科	1,710,000	補	公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団
胃上皮性病変に対するプローブ型共焦点レーザー顕微内視鏡の診断能に関する多施設前向き研究	高丸博之	内視鏡科	1,000,000	補	公益財団法人内視鏡医学研究振興財団

計108件

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Narita, Yoshitaka/ Nagane, Motoo/ Mishima, Kazuhiko/他	脳脊髄腫瘍科	Phase I/II study of tirabrutinib, a second-generation Bruton's tyrosine kinase inhibitor, in relapsed/refractory primary central nervous system lymphoma.	2021年23巻1号 122-133ページ	Original Article
2	Narita, Yoshitaka/ Sato, Shinya/ Kayama, Takamasa	脳脊髄腫瘍科	Review of the diagnosis and treatment of brain metastases.	2022年52巻1号	Original Article
3	Narita, Yoshitaka/ Muragaki, Yoshihiro/ Kagawa, Naoki/他	脳脊髄腫瘍科	Safety and efficacy of depatuxizumab mafodotin in Japanese patients with malignant glioma: A nonrandomized, phase 1/2 trial.	2021年112巻12号 5020-5033ページ	Original Article
4	Ohno, Makoto/ Hayashi, Yoshiharu/ Aikawa, Hiroaki/他	脳脊髄腫瘍科	Tissue 2-Hydroxyglutarate and Preoperative Seizures in Patients With Diffuse Gliomas.	2021年97巻21号 e2114-e2123ページ	Original Article
5	Yonezawa, Hajime/ Ohno, Makoto/ Igaki, Hiroshi/他	脳脊髄腫瘍科	Outcomes of salvage fractionated re-irradiation combined with bevacizumab for recurrent high-grade gliomas that progressed after bevacizumab treatment*.	2021年51巻7号 1028-1035ページ	Original Article
6	Kawauchi, Daisuke/ Takahashi, Masamichi/ Satomi, Kaishi/他	脳脊髄腫瘍科	The ALK inhibitors, alectinib and ceritinib, induce ALK-independent and STAT3-dependent glioblastoma cell death.	2021年112巻6号 2442-2453ページ	Original Article
7	Ito, Akiko/ Kobayashi, Kenya/ Shiotsuka, Mika/他	頭頸部外科	Uniform infection screening allowed safe head and neck surgery during the coronavirus disease 2019 pandemic in Japan.	2021年51巻3号 400-407ページ	Original Article
8	Eguchi, Kohtarō/ Kobayashi, Kenya/ Takano, Tomonari/他	頭頸部外科	Carotid artery ligation via sternotomy as a palliative surgery: Case report of advanced intramediastinal malignant soft tissue tumor.	2021年9巻8号	Original Article
9	Matsumoto, Fumihiko/ Miyakita, Yasuji/ Sakai, Azusa/他	頭頸部外科	Resection of carcinoma of the external auditory canal in a patient with a high jugular bulb using temporal craniotomy.	2021年48巻3号 535-538ページ	Original Article
10	Okubo, Yu/ Matsumoto, Yuji/ Tanaka, Midori/他	呼吸器外科	Clinical validity of 25-gauge endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle in lymph node staging of lung cancer.	2021年13巻5号 3033-3041ページ	Original Article
11	Muraoka, Yuji/ Yoshida, Yukihiko/ Nakagawa, Kazuo/他	呼吸器外科	Maximum standardized uptake value of the primary tumor does not improve candidate selection for sublobar resection.	2022年163巻5号 1656-1665.e3ページ	Original Article
12	Takemura, Chihiro/ Kashima, Jumpei/ Hashimoto, Taiki/他	呼吸器外科	A mimic of lung adenocarcinoma: a case report of histological conversion of metastatic thyroid papillary carcinoma.	2022年80巻6号 1004-1007ページ	Original Article
13	Kawakubo, Naonori/ Okubo, Yu/ Yotsukura, Masaya/他	呼吸器外科	Assessment of Resectability of Mediastinal Germ Cell Tumor Using Preoperative Computed Tomography.	2022年272巻61-68 ページ	Original Article

14	Fujikawa, Ryo/ Muraoka, Yuji/ Kashima, Jumpei/他	呼吸器外科	Clinicopathologic and Genotypic Features of Lung Adenocarcinoma Characterized by the International Association for the Study of Lung Cancer Grading System.	2022年17巻5号 700-707ページ	Original Article
15	Okubo, Yu/ Kashima, Jumpei/ Teishikata, Takashi/他	呼吸器外科	Prognostic Impact of the Histologic Lepidic Component in Pathologic Stage IA Adenocarcinoma.	2022年17巻1号67- 75ページ	Original Article
16	Yotsukura, Masaya/ Okubo, Yu/ Yoshida, Yukihiro/他	呼吸器外科	Predictive factors and economic impact of prolonged air leak after pulmonary resection.	2022年70巻1号44- 51ページ	Original Article
17	Okubo, Yu/ Yoshida, Yukihiro/ Yotsukura, Masaya/他	呼吸器外科	Complex segmentectomy is not a complex procedure relative to simple segmentectomy.	2021年61巻1号 100-107ページ	Original Article
18	Kobayashi, Aki K/ Nakagawa, Kazuo/ Nakayama, Yuko/他	呼吸器外科	Salvage Surgery Compared to Surgery After Induction Chemoradiation Therapy for Advanced Lung Cancer.	2021年	Original Article
19	Nakagawa, Kazuo/ Yoshida, Yukihiro/ Yotsukura, Masaya/他	呼吸器外科	Minimally invasive open surgery (MIOS) for clinical stage I lung cancer: diversity in minimally invasive procedures.	2021年51巻11号 1649-1655ページ	Original Article
20	Yotsukura, Masaya/ Motoi, Noriko/ Yoshida, Akihiko/他	呼吸器外科	Squamous differentiation in surgically resected malignant pleural mesothelioma with neoadjuvant	2021年71巻10号 692-696ページ	Original Article
21	Yotsukura, Masaya/ Asamura, Hisao/ Motoi, Noriko/他	呼吸器外科	Long-Term Prognosis of Patients With Resected Adenocarcinoma In Situ and Minimally Invasive Adenocarcinoma of the Lung.	2021年16巻8号 1312-1320ページ	Original Article
22	Nakagawa, Kazuo/ Asamura, Hisao	呼吸器外科	Limited resection for early-stage thymoma: minimally invasive resection does not mean limited resection.	2021年51巻8号 1197-1203ページ	Original Article
23	Yoshida, Yukihiro/ Yotsukura, Masaya/ Nakagawa, Kazuo/他	呼吸器外科	Surgical Results in Pathological N1 Non-small Cell Lung Cancer.	2021年69巻4号 366-372ページ	Original Article
24	Uchida, Shinsuke/ Yoshida, Yukihiro/ Yotsukura, Masaya/他	呼吸器外科	Factors Associated with Unexpected Readmission Following Lung Resection.	2021年45巻5号 1575-1582ページ	Original Article
25	Yotsukura, Masaya/ Okubo, Yu/ Yoshida, Yukihiro/他	呼吸器外科	Fissureless trans-pericardial left upper lobectomy of the lung: a technique to avoid pneumonectomy.	2021年69巻4号 778-780ページ	Original Article
26	Yotsukura, Masaya/ Okubo, Yu/ Yoshida, Yukihiro/他	呼吸器外科	Indocyanine green imaging for pulmonary segmentectomy.	2021年6巻151-158 ページ	Original Article
27	Nakagawa, Kazuo	呼吸器外科	Reply to Ding et al.	2021年59巻4号 925-926ページ	Original Article
28	Mizuno, Takaaki/ Yoshida, Tatsuya/ Sunami, Kuniko/他	呼吸器内科	Study protocol for NCCH1908 (UPFRONT-trial): a prospective clinical trial to evaluate the feasibility and utility of comprehensive genomic profiling prior to the initial systemic treatment in advanced solid tumour patients.	2021年51巻12号 1757-1760ページ	Original Article

29	Shirasawa, Masayuki/ Yoshida, Tatsuya/ Imabayashi, Tatsuya/他	呼吸器内科	Baseline PD-L1 expression and tumour-infiltrated lymphocyte status predict the efficacy of durvalumab consolidation therapy after chemoradiotherapy in unresectable locally advanced patients with non-small-cell lung cancer.	2022年162巻	Original Article
30	Shirasawa, Masayuki/ Yoshida, Tatsuya/ Shimoda, Yukiko/他	呼吸器内科	Differential Immune-Related Microenvironment Determines Programmed Cell Death Protein-1/Programmed Death-Ligand 1 Blockade Efficacy in Patients With Advanced NSCLC.	2021年16巻12号 2078-2090ページ	Original Article
31	Ohe, Yuichiro/ Yamazaki, Naoya/ Yamamoto, Nobuyuki/他	呼吸器内科	The real-world safety of atezolizumab as second-line or later treatment in Japanese patients with non-small-cell lung cancer: a post-marketing surveillance study.	2022年52巻6号 623-632ページ	Original Article
32	So, Clara/ Yoshida, Tatsuya/ Mizuno, Takaaki/他	呼吸器内科	Rapidly progressing metastatic malignant melanoma mimicking primary pleural tumor: A case report.	2022年13巻9号 1423-1426ページ	Original Article
33	Muto, Yutaka/ Okuma, Yusuke	呼吸器内科	Therapeutic options in thymomas and thymic carcinomas.	2022年22巻4号 401-413ページ	Original Article
34	Tateishi, Akiko/ Horinouchi, Hidehito/ Yoshida, Tatsuya/他	呼吸器内科	Correlation between body mass index and efficacy of anti-PD-1 inhibitor in patients with non-small cell lung cancer.	2022年60巻2号 234-240ページ	Original Article
35	Takumida, Hiroshi/ Horinouchi, Hidehito/ Masuda, Ken/他	呼吸器内科	Comparison of time to failure of pembrolizumab plus chemotherapy versus pembrolizumab monotherapy: a consecutive analysis of patients having NSCLC with high PD-L1 expression.	2022年71巻3号 737-746ページ	Original Article
36	Okuma, Yusuke/ Shimokawa, Mototsugu/ Hashimoto, Kana/他	呼吸器内科	Uncommon EGFR mutations conducted with osimertinib in patients with NSCLC: a study protocol of phase 2 study (UNICORN/TCOG1901).	2022年18巻5号 523-531ページ	Original Article
37	Jo, Hitomi/ Yoshida, Tatsuya/ Horinouchi, Hidehito/他	呼吸器内科	Prognostic significance of cachexia in advanced non-small cell lung cancer patients treated with pembrolizumab.	2022年71巻2号 387-398ページ	Original Article
38	Goto, Yasushi/ Arakawa, Sayaka/ Shirasawa, Masayuki/他	呼吸器内科	Performance of Japanese patients in registrational studies.	2022年52巻1号53- 64ページ	Original Article
39	Takamizawa, Shigemasa/ Okuma, Yusuke/ Kato, Yasuhiro/他	呼吸器内科	First-line osimertinib in EGFR mutation-positive non-small cell lung cancer patients with poor performance status.	2022年18巻3号 291-300ページ	Original Article
40	Shimoda, Yukiko/ Yoshida, Tatsuya/ Shirasawa, Masayuki/他	呼吸器内科	Smoking History Predicts High Presence of TILs and Efficacy of PD-1 Blockade in PD-L1 Expression-negative Non-small Cell Lung Cancer Patients.	2021年41巻11号 5739-5747ページ	Original Article



41	Morita, Chie/ Yoshida, Tatsuya/ Shirasawa, Masayuki/他	呼吸器内科	Clinical characteristics of advanced non-small cell lung cancer patients with EGFR exon 20 insertions.	2021年11巻1号	Original Article
42	Satoh, Hironori/ Okuma, Yusuke/ Kashima, Jumpei/他	呼吸器内科	Alectinib for Miliary Lung Metastasis in ALK-Positive Lung Adenocarcinoma.	2021年14巻2911-2915ページ	Original Article
43	Shirasawa, Masayuki/ Yoshida, Tatsuya/ Takayanagi, Daisuke/他	呼吸器内科	Activity and Immune Correlates of Programmed Death-1 Blockade Therapy in Patients With Advanced Large Cell Neuroendocrine Carcinoma.	2021年22巻4号 282-291.e6ページ	Original Article
44	Takeyasu, Yuki/ Yoshida, Tatsuya/ Motoi, Noriko/他	呼吸器内科	Feasibility of next-generation sequencing (OncoPrint DX Target Test) for the screening of oncogenic mutations in advanced non-small-cell lung cancer patients.	2021年51巻7号 1114-1122ページ	Original Article
45	Daiko, Hiroyuki/ Fujita, Takeo/ Oguma, Junya/他	食道外科	Novel minimally invasive approach to lymph node dissection around the left renal vein in patients with esophagogastric junction cancer.	2021年18巻2号 420-423ページ	Original Article
46	Daiko, Hiroyuki/ Oguma, Junya/ Fujiwara, Hisashi/他	食道外科	Robotic esophagectomy with total mediastinal lymphadenectomy using four robotic arms alone in esophageal and esophagogastric cancer (RETML-4): a prospective feasibility study.	2021年18巻2号 203-210ページ	Original Article
47	Kubo, Kentaro/ Kanematsu, Kyohei/ Kurita, Daisuke/他	食道外科	Feasibility of conversion thoracoscopic esophagectomy after induction therapy for locally advanced unresectable esophageal squamous cell carcinoma.	2021年51巻8号 1225-1231ページ	Original Article
48	Ishiyama, Koshiro/ Fujita, Takeo/ Fujiwara, Hisashi/他	食道外科	Does staged surgical training for minimally invasive esophagectomy have an impact on short-term outcomes?	2021年35巻11号 6251-6258ページ	Original Article
49	Daiko, Hiroyuki/ Oguma, Junya/ Fujiwara, Hisashi/他	食道外科	Novel universally applicable technique for performing bilateral transcervical mediastinoscopic-assisted transhiatal laparoscopic esophagectomy: a truly minimally invasive procedure	2021年35巻9号 5186-5192ページ	Original Article
50	Abe, Seiichiro/ Oguma, Junya/ Nonaka, Satoru/他	胃外科	Novel hybrid endoscopy-assisted larynx-preserving esophagectomy for cervical esophageal cancer (with video).	2021年51巻7号 1171-1175ページ	Original Article
51	Kamiya, Ayako/ Yoshikawa, Takaki/ Sakon, Ryota/他	胃外科	Optimal surgery and lymph node metastasis of duodenal bulb neuroendocrine neoplasms.	2022年48巻3号 597-603ページ	Original Article
52	Hayashi, Tsutomu/ Yoshikawa, Takaki	胃外科	Optimal surgery for esophagogastric junctional cancer.	2021年	Original Article

53	Wada, Takeyuki/ Yoshikawa, Takaki/ Sekine, Shigeki/他	胃外科	Pathological complete response at the para-aortic nodes as a possible surrogate endpoint in gastric cancer surgery with para-aortic node dissection after neoadjuvant chemotherapy.	2022年48巻2号 333-338ページ	Original Article
54	Faiz, Z/ Hayashi, T/ Yoshikawa, T	胃外科	Lymph node dissection for gastric cancer: Establishment of D2 and the current position of splenectomy in Europe and Japan.	2021年47巻9号 2233-2236ページ	Original Article
55	Yura, Masahiro/ Yoshikawa, Takaki/ Wada, Takeyuki/他	胃外科	The prognostic impact of macroscopic serosal change on resectable advanced gastric cancer.	2021年21巻1号	Original Article
56	Ishizu, Kenichi/ Hashimoto, Taiki/ Naka, Tomoaki/他	胃外科	APC mutations are common in adenomas but infrequent in adenocarcinomas of the non-ampullary duodenum.	2021年56巻11号 988-998ページ	Original Article
57	Kanemitsu, Yukihide/ Shimizu, Yasuhiro/ Mizusawa, Junki/他	大腸外科	Hepatectomy Followed by mFOLFOX6 Versus Hepatectomy Alone for Liver-Only Metastatic Colorectal Cancer (JCOG0603): A Phase II or III Randomized Controlled Trial.	2021年39巻34号 3789-3799ページ	Original Article
58	Kitamura, Kei/ Shida, Dai/ Sekine, Shigeki/他	大腸外科	Comparison of model fit and discriminatory ability of the 8th edition of the tumor-node-metastasis classification and the 9th edition of the Japanese classification to identify stage III colorectal cancer.	2021年26巻9号 1671-1678ページ	Original Article
59	Shida, Dai/ Boku, Narikazu/ Nakamura, Yuya/他	大腸外科	Comparison of model fit and discriminatory ability of M category as defined by the 7th and 8th editions of the tumor-node-metastasis classification of colorectal cancer and the 9th edition of the Japanese classification.	2021年10巻20号 6937-6946ページ	Original Article
60	Tanabe, Taro/ Shida, Dai/ Boku, Narikazu/他	大腸外科	Primary Tumor-Related Complications Among Patients With Unresectable Stage IV Colorectal Cancer in the Era of Targeted Therapy: A Competing Risk Regression Analysis.	2021年64巻9号 1074-1082ページ	Original Article
61	Ahiko, Yuka/ Shida, Dai/ Nakamura, Yuya/他	大腸外科	Preoperative Nutritional Scores as Host-Related Prognostic Factors for Both Overall Survival and Postoperative Complications in Patients With Stage II to III Colorectal Cancer.	2021年64巻10号 1222-1231ページ	Original Article
62	Nakamura, Yuya/ Shida, Dai/ Boku, Narikazu/他	大腸外科	Lymphocyte-to-C-Reactive Protein Ratio Is the Most Sensitive Inflammation-Based Prognostic Score in Patients With Unresectable Metastatic Colorectal Cancer.	2021年64巻11号 1331-1341ページ	Original Article

63	Moritani, Konosuke/ Shida, Dai/ Kanemitsu, Yukihide/他	大腸外科	Surveillance of patients with stage I or II colorectal cancer in Japan: a JCOG study group questionnaire survey.	2021年51巻12号 1761-1764ページ	Original Article
64	Tsukamoto, Shunsuke/ Kuchiba, Aya/ Moritani, Konosuke/他	大腸外科	Laparoscopic surgery using 8 K ultra-high-definition technology: Outcomes of a phase II study.	2022年15巻1号	Original Article
65	Kudose, Yozo/ Shida, Dai/ Ahiko, Yuka/ 他	大腸外科	Evaluation of Recurrence Risk After Curative Resection for Patients With Stage I to III Colorectal Cancer Using the Hazard Function: Retrospective Analysis of a Single-institution Large Cohort.	2022年275巻4号 727-734ページ	Original Article
66	Kanemitsu, Yukihide/ Shitara, Kohei/ Mizusawa, Junki/他	大腸外科	Primary Tumor Resection Plus Chemotherapy Versus Chemotherapy Alone for Colorectal Cancer Patients With Asymptomatic, Synchronous Unresectable Metastases (JCOG1007; iPACS): A Randomized Clinical Trial.	2021年39巻10号 1098-1107ページ	Original Article
67	Oshima, Kotoe/ Kato, Ken/ Ito, Yoshinori/他	消化管内科	Prognostic biomarker study in patients with clinical stage I esophageal squamous cell carcinoma: ICOG0502-A1.	2022年113巻3号 1018-1027ページ	Original Article
68	Kato, Ken/ Ito, Yoshinori/ Nozaki, Isao/ 他	消化管内科	Parallel-Group Controlled Trial of Surgery Versus Chemoradiotherapy in Patients With Stage I Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	2021年161巻6号 1878-1886.e2ページ	Original Article
69	Boku, Narikazu/ Satoh, Taroh/ Ryu, Min-Hee/他	消化管内科	Nivolumab in previously treated advanced gastric cancer (ATTRACTION-2): 3-year update and outcome of treatment beyond progression with nivolumab.	2021年24巻4号 946-958ページ	Original Article
70	Takamizawa, Shigemasa/ Honma, Yoshitaka/ Murakami, Naoya/他	消化管内科	Short-term outcomes of induction chemotherapy with docetaxel, cisplatin, and fluorouracil (TPF) in locally advanced nasopharyngeal carcinoma.	2021年39巻2号 564-570ページ	Original Article
71	Aoki, Masahiko/ Iwasa, Satoru/ Boku, Narikazu	消化管内科	Trastuzumab deruxtecan for the treatment of HER2-positive advanced gastric cancer: a clinical perspective.	2021年24巻3号 567-576ページ	Original Article
72	Mikuni, Hayato/ Yamamoto, Shun/ Kato, Ken	消化管内科	Nivolumab for the treatment of esophageal cancer.	2021年21巻6号 697-703ページ	Original Article
73	Ikeda, Go/ Yamamoto, Shun/ Kato, Ken	消化管内科	The safety of current treatment options for advanced esophageal cancer after first-line chemotherapy.	2022年21巻1号55- 65ページ	Original Article
74	Yamamoto, Shun/ Nagashima, Kengo/ Kawakami, Takeshi/他	消化管内科	Second-line chemotherapy after early disease progression during first-line chemotherapy containing bevacizumab for patients with metastatic colorectal cancer.	2021年21巻1号 1159ページ	Original Article

75	Yamaguchi, Toshifumi/ Takashima, Atsuo/ Nagashima, Kengo/他	消化管内科	Impact of preoperative chemotherapy as initial treatment for advanced gastric cancer with peritoneal metastasis limited to positive peritoneal lavage cytology (CY1) or localized peritoneal metastasis (P1a): a multi-institutional retrospective study.	2021年24巻3号 701-709ページ	Original Article
76	Hirose, Toshiharu/ Yamamoto, Shun/ Kato, Ken	消化管内科	Emerging data on nivolumab for esophageal squamous cell carcinoma.	2021年15巻8号 845-854ページ	Original Article
77	Ishikawa, Masashi/ Takashima, Atsuo/ Nagata, Yusuke/他	消化管内科	Tumor growth rate during re-challenge chemotherapy with previously used agents as salvage treatment for metastatic colorectal cancer: A retrospective study.	2021年16巻9号 e0257551ページ	Original Article
78	Miyamoto, Takahiro/ Kato, Ken	消化管内科	Immunotherapy for esophageal carcinoma: a narrative review	2021年5巻	Original Article
79	Matsumoto, Yuji/ Nakai, Toshiyuki/ Tanaka, Midori/他	内視鏡科	Diagnostic Outcomes and Safety of Cryobiopsy Added to Conventional Sampling Methods: An Observational Study.	2021年 doi.org/10.1016/j.jc hest.2021.05.015	Original Article
80	Takamaru, Hiroyuki/ Saito, Yutaka/ Sekiguchi, Masau/他	内視鏡科	Endoscopic Resection Before Surgery Does Not Affect the Recurrence Rate in Patients With High-Risk T1 Colorectal Cancer.	2021年12巻4号 e00336ページ	Original Article
81	Kasuga, Kengo/ Yamada, Masayoshi/ Shida, Dai/他	内視鏡科	Treatment outcomes of endoscopic submucosal dissection and surgery for colorectal neoplasms in patients with ulcerative colitis.	2021年9巻8号964- 972ページ	Original Article
82	Abe, Seiichiro/ Oda, Ichiro	内視鏡科	Real-time pharyngeal cancer detection utilizing artificial intelligence: Journey from the proof of concept to the clinical use.	2021年33巻4号 552-553ページ	Original Article
83	Kawashima, Kazumasa/ Abe, Seiichiro/ Koga, Masakazu/他	内視鏡科	Optimal selection of endoscopic resection in patients with esophageal squamous cell carcinoma: endoscopic mucosal resection versus endoscopic submucosal dissection according to lesion size.	2021年34巻5号	Original Article
84	Nakazawa, Kei/ Nouda, Sadaharu/ Kakimoto, Kazuki/他	内視鏡科	The Differential Diagnosis of Colorectal Polyps Using Colon Capsule Endoscopy.	2021年60巻12号 1805-1812ページ	Original Article
85	Ego, Mai/ Abe, Seiichiro/ Nonaka, Satoru/他	内視鏡科	Endoscopic Closure Utilizing Endoloop and Endoclips After Gastric Endoscopic Submucosal Dissection for Patients on Antithrombotic Therapy.	2021年66巻7号 2336-2344ページ	Original Article
86	Yamada, Masayoshi/ Saito, Yutaka/ Yamada, Shigemi/他	内視鏡科	Detection of flat colorectal neoplasia by artificial intelligence: A systematic review.	2021年52-53巻	Original Article
87	Saito, Yutaka/ Abe, Seiichiro/ Inoue, Haruhiro/他	内視鏡科	How to Perform a High-Quality Endoscopic Submucosal Dissection.	2021年161巻2号 405-410ページ	Original Article

88	Sakamoto, Taku/ Cho, Hourin/ Saito, Yutaka	内視鏡科	Clinical Applications of Linked Color Imaging and Blue Laser/Light Imaging in the Screening, Diagnosis, and Treatment of Superficial Colorectal Tumors.	2021年54巻4号 488-493ページ	Original Article
89	Tagawa, Teppei/ Yamada, Masayoshi/ Minagawa, Takeyoshi/他	内視鏡科	Endoscopic characteristics influencing postpolypectomy bleeding in 1147 consecutive pedunculated colonic polyps: a multicenter retrospective study.	2021年94巻4号 803-811.e6ページ	Original Article
90	Saito, Yutaka/ Ono, Akiko	内視鏡科	Underwater Endoscopic Mucosal Resection for Colorectal Lesions: A Bridge Between Conventional Endoscopic Mucosal Resection and Endoscopic Submucosal Dissection.	2021年161巻5号 1369-1371ページ	Original Article
91	Saito, Yutaka/ Oka, Shiro/ Tamai, Naoto/他	内視鏡科	Efficacy and safety of oral sulfate solution for bowel preparation in Japanese patients undergoing colonoscopy: Noninferiority-based, randomized, controlled study.	2021年33巻7号 1131-1138ページ	Original Article
92	Saito, Yutaka/ Kodashima, Shinya/ Matsuda, Takahisa/他	内視鏡科	Current status of diagnostic and therapeutic colonoscopy in Japan: The Japan Endoscopic Database Project.	2022年34巻1号 144-152ページ	Original Article
93	Mizuguchi, Yasuhiko/ Tanaka, Yusaku/ Cho, Hourin/他	内視鏡科	Endoscopic features of isolated and traditional serrated adenoma-associated superficially serrated adenomas of the colorectum.	2022年34巻1号 153-162ページ	Original Article
94	Nakazawa, Kei/ Saito, Yutaka/ Yoshinaga, Shigetaka/他	内視鏡科	Endoscopic submucosal dissection for localized amyloidosis of the sigmoid colon.	2022年54巻1号E5-E6ページ	Original Article
95	Sekiguchi, Masau/ Oda, Ichiro/ Matsuda, Takahisa/他	内視鏡科	Epidemiological Trends and Future Perspectives of Gastric Cancer in Eastern Asia.	2022年103巻1号 22-28ページ	Original Article
96	Sekiguchi, Masau/ Igarashi, Ataru/ Mizuguchi, Yasuhiko/他	内視鏡科	Cost-effectiveness analysis of endoscopic resection for colorectal laterally spreading tumors: Endoscopic submucosal dissection versus piecemeal endoscopic mucosal resection.	2022年34巻3号 553-568ページ	Original Article
97	Makiguchi, Mai Ego/ Abe, Seiichiro/ Okagawa, Yutaka/他	内視鏡科	Preclinical Efficacy and Clinical Feasibility of a Novel Aerosol-Exposure Protection Mask for Esophagogastroduodenoscopy.	2022年55巻2号 226-233ページ	Original Article
98	Ego, Mai/ Abe, Seiichiro/ Nakatani, Yukihiro/他	内視鏡科	Long-term outcomes of patients with recurrent squamous cell carcinoma of the esophagus undergoing salvage endoscopic resection after definitive chemoradiotherapy.	2021年35巻4号 1766-1776ページ	Original Article
99	Yokota, Takuya/ Saito, Yutaka/ Takamaru, Hiroyuki/他	内視鏡科	Spontaneous Regression of Mismatch Repair-Deficient Colon Cancer: A Case Series.	2021年19巻8号 1720-1722.e3ページ	Original Article

100	Abe, Seiichiro/ Matsuzaki, Juntaro/ Sudo, Kazuki/他	内視鏡科	A novel combination of serum microRNAs for the detection of early gastric cancer.	2021年24巻4号 835-843ページ	Original Article
101	Takamaru, Hiroyuki/ Kawaguchi, Yosuke/ Oda, Ichiro/他	内視鏡科	A new reliable acoustic respiratory monitoring technology during upper gastrointestinal tract therapeutic endoscopy with CO(2) insufflation.	2021年35巻4号 877-884ページ	Original Article
102	Inoki, Kazuya/ Abe, Seiichiro/ Tanaka, Yusaku/他	内視鏡科	Reduced Intravenous Fluorescein Dose for Upper and Lower Gastrointestinal Tract Probe-Based Confocal Laser Endomicroscopy.	2021年54巻3号 363-370ページ	Original Article
103	Matsuda, Takahisa/ Fujii, Takahiro/ Sano, Yasushi/他	内視鏡科	Randomised comparison of postpolypectomy surveillance intervals following a two-round baseline colonoscopy: the Japan Polyp Study Workgroup.	2020年70巻8号 1469-1478ページ	Original Article
104	Nakajima, Takeshi/ Sakamoto, Taku/ Hori, Shinichiro/他	内視鏡科	Optimal surveillance interval after piecemeal endoscopic mucosal resection for large colorectal neoplasia: a multicenter randomized controlled trial.	2022年36巻1号 515-525ページ	Original Article
105	Sekiguchi, Masau/ Kakugawa, Yasuo/ Takamaru, Hiroyuki/他	内視鏡科	Risk of metachronous neoplastic lesions during post-polypectomy surveillance in individuals with advanced colorectal neoplasia at initial screening colonoscopy.	2021年36巻8号 2230-2238ページ	Original Article
106	Saito, Yutaka/ Oka, Shiro/ Kawamura, Takuji/他	内視鏡科	Colonoscopy screening and surveillance guidelines.	2021年33巻4号 486-519ページ	Original Article
107	Abe, Seiichiro/ Takizawa, Kohei/ Oda, Ichiro/他	内視鏡科	Incidence and treatment outcomes of metachronous gastric cancer occurring after curative endoscopic submucosal dissection of undifferentiated-type early gastric cancer: Japan Clinical Oncology Group study-post hoc analysis of JCOG1009/1010.	2021年24巻5号 1123-1130ページ	Original Article
108	Imabayashi, Tatsuya/ Matsumoto, Yuji/ Tanaka, Midori/他	内視鏡科	Pleural staging using local anesthetic thoracoscopy in dry pleural dissemination and minimal pleural effusion	2021年12巻8号 1195-1202ページ	Original Article
109	Uchimura, Keigo/ Imabayashi, Tatsuya/ Matsumoto, Yuji/他	内視鏡科	Intravascular Lymphoma Diagnosed by "Hot Lung" Sign	2022年61巻5号 761-762ページ	Original Article
110	Takamoto, Takeshi	肝胆膵外科	Improvement and development in anatomical hepatectomy for hepatocellular carcinoma.	2021年10巻4号 545-547ページ	Original Article
111	Nara, Satoshi/ Esaki, Minoru/ Ban, Daisuke/他	肝胆膵外科	Role of adjuvant and neoadjuvant therapy for resectable biliary tract cancer.	2021年15巻5号 537-545ページ	Original Article
112	Ban, Daisuke/ Nishino, Hitoe/ Ohtsuka, Takao/他	肝胆膵外科	International Expert Consensus on Precision Anatomy for minimally invasive distal pancreatectomy: PAM-HBP Surgery Project.	2022年29巻1号 161-173ページ	Original Article

113	Ban, Daisuke/ Garbarino, Giovanni Maria/ Ishikawa, Yoshiya/他	肝胆膵外科	Surgical approaches for minimally invasive distal pancreatectomy: A systematic review.	2022年29巻1号 151-160ページ	Original Article
114	Daisuke Ban / Satoshi Nara / Takeshi Takamoto /他	肝胆膵外科	Revisiting the role of the hepatic vein in laparoscopic liver resection	2021年	Original Article
115	Kitamura, Hidetoshi/ Hijioka, Susumu/ Nagashio, Yoshikuni/他	肝胆膵内科	Use of endoscopic ultrasound-guided biliary drainage as a rescue of re-intervention after the placement of multiple metallic stents for malignant hilar biliary obstruction.	2022年29巻3号 404-414ページ	Original Article
116	Okusaka, Takuji/ Ikeda, Kenji/ Kudo, Masatoshi/他	肝胆膵内科	Safety and efficacy of lenvatinib by starting dose based on body weight in patients with unresectable hepatocellular carcinoma in REFLECT.	2021年56巻6号 570-580ページ	Original Article
117	Okusaka, Takuji	肝胆膵内科	Cholangiocarcinoma: is it time for a revolution?	2021年15巻5号 467-470ページ	Original Article
118	Hijioka, Susumu/ Morizane, Chigusa/ Ikeda, Masafumi/他	肝胆膵内科	Current status of medical treatment for gastroenteropancreatic neuroendocrine neoplasms and future perspectives.	2021年51巻8号 1185-1196ページ	Original Article
119	Hijioka, Susumu/ Nagashio, Yoshikuni/ Ohba, Akihiro/他	肝胆膵内科	The Role of EUS and EUS-FNA in Differentiating Benign and Malignant Gallbladder Lesions.	2021年11巻9号	Original Article
120	Hijioka, Susumu/ Okusaka, Takuji	肝胆膵内科	Enormous Potential of Endoscopic Ultrasound-guided Liver Biopsies.	2021年60巻11号 1655-1656ページ	Original Article
121	Takamizawa, Shigemasa/ Morizane, Chigusa/ Tanabe, Noriko/他	肝胆膵内科	Clinical characteristics of pancreatic and biliary tract cancers associated with Lynch syndrome.	2022年29巻3号 377-384ページ	Original Article
122	Harai, Shota/ Hijioka, Susumu/ Maruki, Yuta/他	肝胆膵内科	Endoscopic ultrasound-guided hepaticoduodenostomy with anterograde stenting for recurrent hepatic hilar obstruction.	2021年	Original Article
123	Yoshinari, Motohiro/ Hijioka, Susumu/ Okusaka, Takuji/他	肝胆膵内科	Endoscopic ultrasonography-guided hepaticogastrostomy with parenchymal metal stent placement.	2022年	Original Article
124	Satake, Tomoyuki/ Maruki, Yuta/ Kubo, Yuko/他	肝胆膵内科	Atezolizumab-induced Encephalitis in a Patient with Hepatocellular Carcinoma: A Case Report and Literature Review.	2022年	Original Article
125	Koga, Takehiko/ Hijioka, Susumu/ Nagashio, Yoshikuni/他	肝胆膵内科	Endoscopic ultrasound-guided choledochoduodenostomy without fistula dilation using a stent with a 5.9-Fr delivery system: Comparison to a conventional procedure with fistula dilation.	2022年2巻1号e56 ページ	Original Article
126	Kitamura, Hidetoshi/ Hijioka, Susumu/ Maruki, Yuta/他	肝胆膵内科	Novel double endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy for two-hole benign anastomotic stenosis with difficult gastrointestinal approach.	2021年53巻4号 E140-E142ページ	Original Article

127	Koga, Takehiko/ Hijioka, Susumu/ Ishikawa, Yasutake/他	肝胆膵内科	Duckbill-type antireflux self-expandable metal stent placement for post-choledochojejunostomy reflux cholangitis.	2021年53巻5号 E174-E176ページ	Original Article
128	Koga, Takehiko/ Hijioka, Susumu/ Hisada, Yuya/他	肝胆膵内科	Endoscopic ultrasound-guided choledochooduodenostomy without fistula dilation using a novel fully covered metallic stent with a 5.9-Fr ultra-thin delivery system.	2021年53巻6号 E223-E225ページ	Original Article
129	Maehara, Kosuke/ Hijioka, Susumu/ Sakamoto, Taku/他	肝胆膵内科	Novel biliary drainage of a choledochojejunal anastomotic stenosis using a double-balloon endoscope and forward-viewing endoscopic ultrasound.	2021年53巻7号 E242-E244ページ	Original Article
130	Hisada, Yuya/ Hijioka, Susumu/ Ohba, Akihiro/他	肝胆膵内科	Novel endoscopic ultrasound-guided hepaticoduodenostomy using a forward-viewing echoendoscope for altered anatomy.	2021年53巻9号 E340-E342ページ	Original Article
131	Fukunaga, Arinobu/ Maejima, Aiko/ Shinoda, Yasuo/他	泌尿器・後腹膜腫瘍科	Prognostic implication of staging of seminal vesicle invasion in patients with prostatic adenocarcinoma after prostatectomy.	2021年28巻10号 1039-1045ページ	Original Article
132	Kirisawa, Takahiro/ Fukunaga, Arinobu/ Takamori, Hajime/他	泌尿器・後腹膜腫瘍科	Cytoreductive robot-assisted prostatectomy for systemic prostate rhabdomyosarcoma presenting as urinary retention.	2022年5巻2号122- 125ページ	Original Article
133	Ishikawa, Mitsuya/ Shibata, Taro/ Iwata, Takashi/他	婦人腫瘍科	A randomized phase II/III trial of conventional paclitaxel and carboplatin with or without bevacizumab versus dose-dense paclitaxel and carboplatin with or without bevacizumab, in stage IVB, recurrent, or persistent cervical carcinoma (JCOG1311): Primary analysis.	2021年162巻2号 292-298ページ	Original Article
134	Kobayashi Kato, Mayumi/ Asami, Yuka/ Takayanagi, Daisuke/他	婦人腫瘍科	Clinical impact of genetic alterations of CTNNB1 in patients with grade 3 endometrial endometrioid carcinoma.	2022年113巻5号 1712-1721ページ	Original Article
135	Tanase, Yasuhito/ Yoshida, Hiroshi/ Naka, Tomoaki/他	婦人腫瘍科	Clear Cell Carcinoma of the Cervix With OHVIRA Syndrome: A Rare Case Report.	2021年12巻1号34- 38ページ	Original Article
136	Kawai, Akira/ Naka, Norifumi/ Shimomura, Akihiko/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	Efficacy and safety of TAS-115, a novel oral multi-kinase inhibitor, in osteosarcoma: an expansion cohort of a phase I study.	2021年39巻6号 1559-1567ページ	Original Article
137	Iwata, Shintaro/ Kawai, Akira/ Ueda, Takafumi/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	Symptomatic Venous Thromboembolism in Patients with Malignant Bone and Soft Tissue Tumors: A Prospective Multicenter Cohort Study.	2021年28巻7号 3919-3927ページ	Original Article



138	Tanabe, Kenji/ Nakanishi, Yasukazu/ Matsumoto, Shunya/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	Utility of a multidisciplinary team approach with transanal total mesorectal excision for resection of a large pelvic solitary fibrous tumor.	2022年5巻2号104-107ページ	Original Article
139	Abe, Kentaro/ Maeda-Minami, Ayako/ Ishizu, Taku/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	Risk Factors for Hepatic Toxicity of High-dose Methotrexate in Patients With Osteosarcoma.	2022年42巻2号1043-1050ページ	Original Article
140	Iwata, Shintaro/ Tatsumi, Yasutoshi/ Yonemoto, Tsukasa/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	CDK4 overexpression is a predictive biomarker for resistance to conventional chemotherapy in patients with osteosarcoma.	2021年46巻1号	Original Article
141	Tsutsui, Keita/ Kikuchi, Katsuko/ Nozawa, Keiko/他	皮膚腫瘍科	Efficacy and safety of topical benzoyl peroxide for prolonged acneiform eruptions induced by cetuximab and panitumumab: A multicenter, phase II trial.	2021年48巻7号1077-1080ページ	Original Article
142	Mizuta, Haruki/ Nakano, Eiji/ Yamazaki, Naoya	皮膚腫瘍科	Primary Cutaneous Rosai-Dorfman Disease of the Scalp.	2021年11巻1号e2020086ページ	Original Article
143	Mizuta, Haruki/ Namikawa, Kenjiro/ Takahashi, Akira/他	皮膚腫瘍科	The first case of a collision tumor of melanotrichoblastoma and seborrheic keratosis.	2021年60巻2号e54-e56ページ	Original Article
144	Mizuta, Haruki/ Namikawa, Kenjiro/ Nakama, Kenta/他	皮膚腫瘍科	Intramedullary spinal cord metastasis of malignant melanoma: Two cases with rim signs in contrast-enhanced magnetic resonance imaging: A case report.	2021年14巻3号47ページ	Original Article
145	Ogata, Dai/ Haydu, Lauren E/ Glitza, Isabella C/他	皮膚腫瘍科	The efficacy of anti-programmed cell death protein 1 therapy among patients with metastatic acral and metastatic mucosal melanoma.	2021年10巻7号2293-2299ページ	Original Article
146	Ogata, Dai/ Namikawa, Kenjiro/ Takahashi, Akira/他	皮膚腫瘍科	A review of the AJCC melanoma staging system in the TNM classification (eighth edition).	2021年51巻5号671-674ページ	Original Article
147	Muto, Yusuke/ Ryo, Eijitsu/ Namikawa, Kenjiro/他	皮膚腫瘍科	RB1 gene mutations are a distinct predictive factor in Merkel cell carcinoma.	2021年71巻5号337-347ページ	Original Article
148	Yamazaki, Naoya/ Takenouchi, Tatsuya/ Nakamura, Yasuhiro/他	皮膚腫瘍科	Prospective observational study of the efficacy of nivolumab in Japanese patients with advanced melanoma (CREATIVE study).	2021年51巻8号1232-1241ページ	Original Article
149	Nakama, Kenta/ Ogata, Dai/ Nakano, Eiji/他	皮膚腫瘍科	Clinical response to a MEK inhibitor in a patient with metastatic melanoma harboring an RAF1 gene rearrangement detected by cancer gene panel testing.	2021年48巻6号e256-e257ページ	Original Article
150	Ishiguro, Akihiro/ Ogata, Dai/ Namikawa, Kenjiro/他	皮膚腫瘍科	Two cases of advanced cutaneous squamous cell carcinoma lesions on the head and neck successfully treated with nivolumab.	2021年48巻9号e434-e435ページ	Original Article

151	Ogata, Dai/ Tanese, Keiji/ Nakamura, Yoshio/他	皮膚腫瘍科	Impact of the changes in the completion lymph node dissection criteria and approval of adjuvant therapies on the real-world outcomes of Japanese stage III melanoma patients.	2021年26巻12号 2338-2346ページ	Original Article
152	Tsutsui, Keita/ Namikawa, Kenjiro/ Mori, Taisuke/他	皮膚腫瘍科	Case of acquired reactive perforating collagenosis induced by panitumumab for colon cancer.	2021年48巻2号 e114-e115ページ	Original Article
153	Izutsu, Koji/ Ando, Kiyoshi/ Nishikori, Momoko/他	血液腫瘍科	Phase II study of tazemetostat for relapsed or refractory B-cell non-Hodgkin lymphoma with EZH2 mutation in Japan.	2021年112巻9号 3627-3635ページ	Original Article
154	Ida, Hanae/ Inamoto, Yoshihiro/ Fukuhara, Suguru/他	血液腫瘍科	Outcomes of hematopoietic cell transplantation for transformed follicular lymphoma.	2021年39巻5号 650-657ページ	Original Article
155	Izutsu, Koji/ Suzumiya, Junji/ Takizawa, Jun/他	血液腫瘍科	Real World Treatment Practices for Mantle Cell Lymphoma in Japan: An Observational Database Research Study (CLIMBER-DBR).	2021年61巻3号 135-144ページ	Original Article
156	Yuda, Sayako/ Miyagi Maeshima, Akiko/ Taniguchi, Hirokazu/他	血液腫瘍科	Clinicopathological factors and tumor microenvironment markers predicting watch-and-wait discontinuation in 82 patients with follicular lymphoma.	2021年107巻1号 157-165ページ	Original Article
157	Ito, Yuta/ Maeshima, Akiko Miyagi/ Hatta, Shunsuke/他	血液腫瘍科	Use of Core-Needle Biopsy for the Diagnosis of Malignant Lymphomas in Clinical Practice.	2021年144巻6号 641-648ページ	Original Article
158	Munakata, W/ Tobinai, K	血液腫瘍科	Tirabrutinib hydrochloride for B-cell lymphomas.	2021年57巻4号 277-289ページ	Original Article
159	Suzuki, Tomotaka/ Maruyama, Dai/ Miyagi-Maeshima, Akiko/他	血液腫瘍科	Clinicopathological analysis of primary refractory diffuse large B-cell lymphoma treated with rituximab plus cyclophosphamide, doxorubicin, vincristine, and prednisolone chemoimmunotherapy.	2021年10巻15号 5101-5109ページ	Original Article
160	Fujino, Takahiro/ Maruyama, Dai/ Maeshima, Akiko-Miyagi/他	血液腫瘍科	The outcome of watchful waiting in patients with previously treated follicular lymphoma.	2022年11巻10号 2106-2116ページ	Original Article
161	Ito, Ayumu/ Nakano, Nobuaki/ Tanaka, Takashi/他	造血幹細胞移植科	Improved survival of patients with aggressive ATL by increased use of allo-HCT: a prospective observational study.	2021年5巻20号 4156-4166ページ	Original Article
162	Tanaka, Takashi/ Nakamae, Hirohisa/ Ito, Ayumu/他	造血幹細胞移植科	A Phase I/II Multicenter Trial of HLA-Haploidentical PBSCT with PTCy for Aggressive Adult T Cell Leukemia/Lymphoma.	2021年27巻11号 928.e1-928.e7ページ	Original Article
163	Yamaguchi, Kyosuke/ Inamoto, Yoshihiro/ Tajima, Kinuko/他	造血幹細胞移植科	Characterization of readmission after allogeneic hematopoietic cell transplantation.	2021年56巻6号 1335-1340ページ	Original Article
164	Inamoto, Yoshihiro/ Martin, Paul J/ Onstad, Lynn E/他	造血幹細胞移植科	Relevance of Plasma Matrix Metalloproteinase-9 for Bronchiolitis Obliterans Syndrome after Allogeneic Hematopoietic Cell Transplantation.	2021年27巻9号 759.e1-759.e8ページ	Original Article

165	Williams, Kirsten M/ Inamoto, Yoshihiro/ Im, Annie/他	造血幹細胞移植科	National Institutes of Health Consensus Development Project on Criteria for Clinical Trials in Chronic Graft-versus-Host Disease: I. The 2020 Etiology and Prevention Working Group Report.	2021年27巻6号 452-466ページ	Original Article
166	Kumamoto, Tadashi/ Yamazaki, Fumito/ Nakano, Yoshiko/他	小児腫瘍科	Correction to: Medical guidelines for Li-Fraumeni syndrome 2019, version 1.1	2022年27巻1号 262-263ページ	Original Article
167	Nakajima, Miho/ Guo, Hong-Fen/ Hoseini, Sayed Shahabuddin/他	小児腫瘍科	Potent antitumor effect of T cells armed with anti-GD2 bispecific antibody.	2021年68巻7号 e28971ページ	Original Article
168	Kumamoto, Tadashi/ Yamazaki, Fumito/ Nakano, Yoshiko/他	小児腫瘍科	Medical guidelines for Li-Fraumeni syndrome 2019, version 1.1.	2021年26巻12号 2161-2178ページ	Original Article
169	Shoji, Masaaki/ Inaba, Koji/ Itami, Jun/ Hamada, Minoru/他	総合内科	Advantages and challenges for noninvasive atrial fibrillation ablation.	2021年62巻2号 319-327ページ	Original Article
170	Mizobuchi, Yusuke/ Miyano, Kanako/ Manabe, Sei/他	麻酔・集中治療科	Ketamine Improves Desensitization of $\mu$ -Opioid Receptors Induced by Repeated Treatment with Fentanyl but Not with Morphine.	2022年12巻3号	Original Article
171	Ishiki, Hiroto/ Hirayama, Takatoshi/ Horiguchi, Saki/他	緩和医療科	A Support System for Adolescent and Young Adult Patients with Cancer at a Comprehensive Cancer Center.	2022年5巻1号44- 54ページ	Original Article
172	Amano Koji/ Satomi Eriko/ Oyamada Shunsuke/他	緩和医療科	The prevalence of artificially administered nutrition and hydration in different age groups among patients with advanced cancer admitted to palliative care units	2021年40巻69-78 ページ	Original Article
173	Arakawa, Sayaka/ Amano, Koji/ Oyamada, Shunsuke/他	緩和医療科	Effects of parenteral nutrition and hydration on survival in advanced cancer patients with malignant bowel obstruction: secondary analysis of a multicenter prospective cohort study.	2021年29巻12号 7541-7549ページ	Original Article
174	Amano, Koji/ Ishiki, Hiroto/ Miura, Tomofumi/他	緩和医療科	C-Reactive Protein and Its Relationship with Pain in Patients with Advanced Cancer Cachexia: Secondary Cross-Sectional Analysis of a Multicenter Prospective Cohort Study.	2021年2巻1号122- 131ページ	Original Article
175	Ishiki, Hiroto/ Hamano, Jun/ Nagaoka, Hiroka/他	緩和医療科	Prevalence of Extrapyramidal Symptoms in Cancer Patients Referred to Palliative Care: A Multicenter Observational Study (JORTC PAL12).	2021年38巻7号 823-829ページ	Original Article
176	Ishiki, Hiroto/ Hasuo, Hideaki/ Matsuda, Yoshinobu/他	緩和医療科	Prevalence of myofascial pain syndrome and efficacy of trigger point injection in patients with incurable cancer. A multicenter, prospective observational study. (MyCar study).	2021年	Original Article
177	Amano, Koji/ Hopkinson, Jane/ Baracos, Vickie	緩和医療科	Psychological symptoms of illness and emotional distress in advanced cancer cachexia.	2021年	Original Article

178	Yokota Sayuri/ Amano Koji/ Oyamada Shunsuke/他	緩和医療科	Effects of artificial nutrition and hydration on survival in patients with head and neck cancer and esophageal cancer admitted to palliative care units	2021年41巻33-43ページ	Original Article
179	Koji AMANO/ Daisuke KIUCHI/ Hiroto ISHIKI/他	緩和医療科	Clinical Implications of the Interdisciplinary Psychosocial Approach and Integrative Care for Patients with Advanced Cancer and Family Members in the Nutritional Support and Cancer Cachexia Clinic	2021年16巻2号147-152ページ	Original Article
180	Yokota, Sayuri/ Amano, Koji/ Oyamada, Shunsuke/他	緩和医療科	Effects of artificial nutrition and hydration on survival in patients with head and neck cancer and esophageal cancer admitted to palliative care units: Secondary analysis of a multicenter prospective cohort study	2021年	Original Article
181	Amano, Koji/ Satomi, Eriko/ Oyamada, Shunsuke/他	緩和医療科	The prevalence and use of artificial nutrition and hydration in different age groups among patients with advanced cancer admitted to palliative care units: Secondary analysis of a multicenter prospective cohort study	2021年	Original Article
182	Amano, Koji/ Maeda, Isseki/ Ishiki, Hiroto/他	緩和医療科	Effects of enteral nutrition and parenteral nutrition on survival in patients with advanced cancer cachexia: Analysis of a multicenter prospective cohort study.	2021年40巻3号1168-1175ページ	Original Article
183	Yanai, Yuko/ Makihara, Reiko Ando/ Matsunaga, Naoko/他	精神腫瘍科	A feasibility study of a peer discussion group intervention for patients with pancreaticobiliary cancer and their caregivers.	2021年	Original Article
184	Hirayama, Takatoshi/ Kojima, Rebekah/ Udagawa, Ryoko/他	精神腫瘍科	A Questionnaire Survey on Adolescent and Young Adult Hiroba, a Peer Support System for Adolescent and Young Adult Cancer Patients at a Designated Cancer Center in Japan.	2022年11巻3号309-315ページ	Original Article
185	Hirayama, Takatoshi/ Kojima, Rebekah/ Udagawa, Ryoko/他	精神腫瘍科	A Hospital-Based Online Patients Support Program, Online Adolescent and Young Adult Hiroba, for Adolescent and Young Adult Cancer Patients at a Designated Cancer Center in Japan.	2022年	Original Article
186	Terada, Tatsuto/ Hirayama, Takatoshi/ Sadahiro, Ryoichi/他	精神腫瘍科	Pilot Study of Lemborexant for Insomnia in Cancer Patients with Delirium.	2022年25巻5号797-801ページ	Original Article
187	Kaku, Sawako/ Motoi, Noriko/ Watanabe, Hirokazu/他	放射線診断科	"Real" Tumor-Spread Through Air Spaces of Lung Adenocarcinoma Presented Intrapulmonary Metastases Through Bronchiole Air Spaces: A Case Report.	2022年3巻2号	Original Article

188	Sugawara, Haruto/ Ito, Kimiteru/ Watanabe, Hirokazu/他	放射線診断科	Clinical usefulness of PET/MRI in differentiating anterior mediastinal masses.	2022年43巻1号92-99ページ	Original Article
189	Sugawara, Haruto/ Watanabe, Hirokazu/ Kunimatsu, Akira/他	放射線診断科	Tumor size in patients with severe pulmonary emphysema might be underestimated on preoperative CT.	2022年32巻1号163-173ページ	Original Article
190	Sugawara, Haruto/ Watanabe, Hirokazu/ Kunimatsu, Akira/他	放射線診断科	Adenocarcinoma in situ and minimally invasive adenocarcinoma in lungs of smokers: image feature differences from those in lungs of non-smokers.	2021年21巻1号172ページ	Original Article
191	Ito, Kimiteru/ Kitajima, Kazuhiro/ Torihara, Akira/他	放射線診断科	(18)F-FDG PET/CT for monitoring anti-PD-1 therapy in patients with non-small cell lung cancer using SUV harmonization of results obtained with various types of PET/CT scanners used at different centers.	2021年35巻11号1253-1263ページ	Original Article
192	Kubo, Yuko/ Ito, Kimiteru/ Fujiwara, Yutaka/他	放射線診断科	Case Report: SAPHO Syndrome Mimicking Bone Metastases During Treatment With Pembrolizumab for Non-small Cell Lung Cancer.	2021年8巻	Original Article
193	Sugawara, Shunsuke/ Sone, Miyuki/ Itou, Chihiro/他	放射線診断科	Analysis of factors affecting the diagnostic yield of image-guided percutaneous core needle biopsy for peritoneal/omental lesions.	2021年46巻9号4499-4508ページ	Original Article
194	Kikkawa, Nao/ Ito, Kimiteru/ Yoshida, Hiroshi/他	放射線診断科	Magnetic resonance imaging findings in 11 cases of dedifferentiated endometrial carcinoma of the uterus.	2021年39巻5号477-486ページ	Original Article
195	Koretsune, Yuji/ Sone, Miyuki/ Arai, Yasuaki/他	放射線診断科	Feasibility and Safety of the Craniocaudal Approach for Superior Sulcus Lesions of the Thorax.	2021年44巻9号1456-1461ページ	Original Article
196	Itou, Chihiro/ Arai, Yasuaki/ Sone, Miyuki/他	放射線診断科	Transgastric Feeding Tube Insertion into the Jejunum after Esophagectomy: Direct Puncture of the Gastric Conduit.	2021年32巻10号1464-1469ページ	Original Article
197	Ozawa Mizuki/ Yamamoto Masayoshi/ Yamada Kentaro/他	放射線診断科	Intranodal Embolization for Groin Lymphocele	2021年6巻3号117-121ページ	Original Article
198	Ozawa Mizuki/ Sone Miyuki/ Arai Yasuaki/他	放射線診断科	Trans-Colostomy Placement of a Button Gastrostomy Tube for Malignant Bowel Obstruction in Patients with Peritoneal Carcinomatosis	2021年5巻2号106-109ページ	Original Article
199	Arai, Yasuaki	放射線診断科	A new window connecting medical oncologists and interventional oncologists.	2021年51巻7号1023ページ	Original Article
200	Arai, Yasuaki	放射線診断科	Interventional Radiology for Whom.	2021年44巻4号633-634ページ	Original Article
201	Onishi, Yasuyuki/ Kusumoto, Masahiko/ Motoi, Noriko/他	放射線診断科	Natural History of Epithelioid Hemangioendothelioma of the Liver: CT Findings of 15 Cases.	2021年28巻6号778-782ページ	Original Article
202	Itou, Chihiro/ Arai, Yasuaki/ Sone, Miyuki/他	放射線診断科	Endoluminal Cooling of the Esophagus during Percutaneous Thermal Ablation for Juxtaesophageal Liver Neoplasm: Two Cases	2021年5巻1号48-51ページ	Original Article

203	Nakamura, Satoshi/ Murakami, Naoya/ Suzuki, Shigenobu/他	放射線治療科	Monte Carlo simulation of tilted contact plaque brachytherapy placement for juxtapapillary retinoblastoma.	2022年17巻1号16 ページ	Original Article
204	Kashihara, Tairo/ Nakamura, Satoshi/ Murakami, Naoya/他	放射線治療科	Initial Experience of Intentional Internal High-Dose Policy Volumetric Modulated Arc Therapy of Neck Lymph Node Metastases $\geq 2$ cm in Patients With Head and Neck Squamous Cell Carcinoma.	2021年11巻	Original Article
205	Inaba, Koji/ Tsuchida, Keisuke/ Kashihara, Tairo/他	放射線治療科	Treatment results of radiotherapy to both the prostate and metastatic sites in patients with bone metastatic prostate cancer.	2021年62巻3号 511-516ページ	Original Article
206	Murakami, Naoya/ Asami, Yuka/ Yoshida, Hiroshi/他	放射線治療科	Distribution of genetic alterations in high-risk early-stage cervical cancer patients treated with postoperative radiation therapy.	2021年11巻1号	Original Article
207	Itami, Jun/ Murakami, Naoya/ Watanabe, Miho/他	放射線治療科	Combined Interstitial and Intracavitary High-Dose Rate Brachytherapy of Cervical Cancer.	2021年11巻	Original Article
208	Igaki, Hiroshi/ Murakami, Naoya/ Nakamura, Satoshi/他	放射線治療科	Scalp angiosarcoma treated with linear accelerator-based boron neutron capture therapy: A report of two patients.	2022年33巻128- 133ページ	Original Article
209	Murakami, Naoya/ Nakamura, Satoshi/ Kashihara, Tairo/他	放射線治療科	Increased number of prostate cancer patients selecting high dose-rate interstitial brachytherapy during the COVID-19 pandemic.	2021年154巻274- 275ページ	Original Article
210	Murakami, Naoya/ Omura, Go/ Yatsuoka, Wakako/他	放射線治療科	Hybrid Intracavitary-Interstitial brachytherapy in a case of nasal vestibule cancer penetrating the hard palate.	2021年7巻4号	Original Article
211	Murakami, Naoya/ Ando, Ken/ Murata, Masumi/他	放射線治療科	Why not de-intensification for uterine cervical cancer?	2021年163巻1号 105-109ページ	Original Article
212	Murakami, Naoya/ Honma, Yoshitaka/ Yoshimoto, Seiichi/他	放射線治療科	Gel spacer to protect carotid artery and reconstructed jejunum in image-guided interstitial brachytherapy for recurrent hypopharyngeal cancer: a technical report.	2021年13巻5号 583-587ページ	Original Article
213	Murakami, Naoya/ Okuma, Kae/ Okamoto, Hiroyuki/他	放射線治療科	Bevacizumab increases late toxicity in re-irradiation with image-guided high-dose-rate brachytherapy for gynecologic malignancies.	2022年14巻1号52- 59ページ	Original Article
214	Murakami, Naoya/ Kuno, Ikumi/ Yoshida, Hiroshi/他	放射線治療科	How should we appropriately classify low-risk uterine cervical cancer patients suitable for de-intensified treatment?	2022年63巻2号 312-313ページ	Original Article
215	Murakami, Naoya/ Ohno, Tatsuya/ Toita, Takafumi/他	放射線治療科	Japanese Society for Radiation Oncology Consensus Guidelines of combined intracavitary and interstitial brachytherapy for gynecological cancers.	2022年63巻3号 402-411ページ	Original Article

216	Murakami, Naoya/ Ando, Ken/ Murata, Masumi/他	放射線治療科	An Asian multi-national multi-institutional retrospective study comparing intracavitary versus the hybrid of intracavitary and interstitial brachytherapy for locally advanced uterine cervical carcinoma.	2022年63巻3号 412-427ページ	Original Article
217	Murakami, Naoya/ Watanabe, Miho/ Uno, Takashi/他	放射線治療科	Large volume was associated with increased risk of acute non-hematologic adverse events in the hybrid of intracavitary and interstitial brachytherapy for locally advanced uterine cervical cancer: preliminary results of prospective phase I/II clinical trial.	2022年	Original Article
218	Nakamura, Satoshi/ Igaki, Hiroshi/ Ito, Masashi/他	放射線治療科	Neutron flux evaluation model provided in the accelerator-based boron neutron capture therapy system employing a solid-state lithium target.	2021年11巻1号	Original Article
219	Okamoto, Hiroyuki/ Okuma, Kae/ Nakayama, Hiroki/他	放射線治療科	In vivo dosimetry for testicular and scalp shielding in total skin electron therapy using a radiophotoluminescence glass dosimeter.	2022年63巻1号51-54ページ	Original Article
220	Okamoto, Hiroyuki/ Iijima, Kotaro/ Chiba, Takahito/他	放射線治療科	Technical note: Analysis of brachytherapy source movement by high-speed camera.	2022年	Original Article
221	Nakayama, Hiroki/ Nakamura, Satoshi/ Iijima, Kotaro/他	放射線治療科	Efficacy of tangential irradiation with volumetric modulated arc therapy on scalp angiosarcoma using medical linac.	2021年91巻105-116ページ	Original Article
222	Iijima, Kotaro/ Okamoto, Hiroyuki/ Nishioka, Shie/他	放射線治療科	Performance of a newly designed end-to-end phantom compatible with magnetic resonance-guided radiotherapy systems.	2021年48巻11号 7541-7551ページ	Original Article
223	Shimizu, Yuri/ Murakami, Naoya/ Chiba, Takahito/他	放射線治療科	High-Dose-Rate Interstitial Brachytherapy for Deeply Situated Gynecologic Tumors Guided by Combination of Transrectal and Transabdominal Ultrasonography: A Technical Note.	2021年11巻	Original Article
224	Kashihara, Tairo/ Kashihara, Kenichi	放射線治療科	Radiotherapy with genomic-adjusted radiation dose.	2021年22巻11号 e468ページ	Original Article
225	Kashihara, Tairo/ Kashihara, Kenichi	放射線治療科	Lutetium-177-PSMA-617 for Prostate Cancer.	2021年385巻26号 2494-2495ページ	Original Article
226	Kashihara, Tairo/ Igaki, Hiroshi/ Ogata, Dai/他	放射線治療科	Prognostic factor analysis of definitive radiotherapy using intensity-modulated radiation therapy and volumetric modulated arc therapy with boluses for scalp angiosarcomas.	2022年12巻1号	Original Article
227	Kobayashi, Rei/ Murakami, Naoya/ Chiba, Takahito/他	放射線治療科	Effect of Hyaluronate Acid Injection on Dose-Volume Parameters in Brachytherapy for Cervical Cancer.	2022年7巻3号	Original Article

228	Murakami, Naoya/ Mori, Taisuke/ Machida, Ryunosuke/他	放射線治療科	Prognostic Value of Epithelial Cell Adhesion Molecules in T1-2N0M0 Glottic Cancer.	2021年131巻7号 1522-1527ページ	Original Article
229	Yazaki, Shu/ Yoshida, Tatsuya/ Kojima, Yuki/他	先端医療科	Difference in SARS-CoV-2 Antibody Status Between Patients With Cancer and Health Care Workers During the COVID-19 Pandemic in Japan.	2021年7巻8号 1141-1148ページ	Original Article
230	Hibino, Y/ Ito, M/ Satake, T/他	先端医療科	Clinical benefits of precision medicine in treating solid cancers: European Society of Medical Oncology-Magnitude of Clinical Benefit Scale score-based analysis.	2021年6巻4号	Original Article
231	Iwasa, Satoru/ Muro, Kei/ Morita, Satoshi/他	先端医療科	Impact of UGT1A1 genotype on the efficacy and safety of irinotecan-based chemotherapy in metastatic colorectal cancer.	2021年112巻11号 4669-4678ページ	Original Article
232	Shimizu, Toshio/ Fujiwara, Yutaka/ Yonemori, Kan/他	先端医療科	First-in-Human Phase 1 Study of MORAb-202, an Antibody-Drug Conjugate Comprising Farletuzumab Linked to Eribulin Mesylate, in Patients with Folate Receptor- $\alpha$ -Positive Advanced Solid Tumors.	2021年27巻14号 3905-3915ページ	Original Article
233	Sato, Jun/ Shimizu, Toshio/ Koyama, Takafumi/他	先端医療科	Dose Escalation Data from the Phase 1 Study of the Liposomal Formulation of Eribulin (E7389-LF) in Japanese Patients with Advanced Solid Tumors.	2022年28巻9号 1783-1791ページ	Original Article
234	Shimizu, Toshio/ Kim, Dong-Wan/ Loong, Herbert H/他	先端医療科	Overcoming the impact of the COVID-19 pandemic on oncology early phase trials and drug development in Asia-Experiences and perspectives of the Asian Oncology Early Phase 1 Consortium	2021年17巻4号 388-395ページ	Original Article
235	Yamamoto, Noboru/ Shimizu, Toshio/ Yonemori, Kan/他	先端医療科	A first-in-human, phase 1 study of the NEDD8 activating enzyme E1 inhibitor TAS4464 in patients with advanced solid tumors.	2021年39巻4号 1036-1046ページ	Original Article
236	Kondo, Shunsuke/ Shimizu, Toshio/ Koyama, Takafumi/他	先端医療科	First-in-human study of the cancer peptide vaccine TAS0313 in patients with advanced solid tumors.	2021年112巻4号 1514-1523ページ	Original Article
237	Yonemori, Kan/ Shimizu, Toshio/ Kondo, Shunsuke/他	先端医療科	The safety, tolerability and pharmacokinetics of niraparib in Japanese patients with solid tumours: results of a phase I dose-escalation study.	2021年51巻5号 693-699ページ	Original Article
238	Iwata, Satoshi/ Koyama, Hayato/ Murata, Yoshihiko	感染制御室	Efficacy and safety of daptomycin in Japanese pediatric participants with complicated skin and soft tissue infections or bacteremia caused by gram-positive cocci.	2022年28巻3号 406-412ページ	Original Article



239	Iwata, Satoshi/ Takata, Misako/ Morozumi, Miyuki/他	感染制御室	Drastic reduction in pneumococcal meningitis in children owing to the introduction of pneumococcal conjugate vaccines: Longitudinal analysis from 2002 to 2016 in Japan.	2021年27巻4号 604-612ページ	Original Article
240	Noguchi, Rei/ Yoshimatsu, Yuki/ Ono, Takuya/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of NCC-DMM1-C1, a novel patient-derived cell line of desmoplastic malignant pleural mesothelioma.	2022年23巻2号64 ページ	Original Article
241	Yoshimatsu, Yuki/ Noguchi, Rei/ Tsuchiya, Ryuto/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of NCC-MFS4-C1: a novel patient-derived cell line of myxofibrosarcoma.	2021年34巻6号 1911-1918ページ	Original Article
242	Tsuchiya, Ryuto/ Yoshimatsu, Yuki/ Noguchi, Rei/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of NCC-ssRMS2-C1: a novel patient-derived cell line of spindle cell/sclerosing rhabdomyosarcoma.	2021年34巻5号 1569-1578ページ	Original Article
243	Tsuchiya, Ryuto/ Yoshimatsu, Yuki/ Noguchi, Rei/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of NCC-UPS3-C1: a novel patient-derived cell line of undifferentiated pleomorphic sarcoma.	2022年35巻1号 384-391ページ	Original Article
244	Tsuchiya, Ryuto/ Yoshimatsu, Yuki/ Noguchi, Rei/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of NCC-MFS3-C1: a novel patient-derived cell line of myxofibrosarcoma.	2021年34巻4号 1266-1273ページ	Original Article
245	Tsuchiya, Ryuto/ Yoshimatsu, Yuki/ Noguchi, Rei/他	希少がんセンター	Establishment and Characterization of NCC-DDLPS4-C1: A Novel Patient-Derived Cell Line of Dedifferentiated Liposarcoma.	2021年11巻11号	Original Article
246	Yoshimatsu, Yuki/ Noguchi, Rei/ Sin, Yooksil/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of NCC-LGFMS1-C1: a novel patient-derived cell line of low-grade fibromyxoid sarcoma.	2021年34巻6号 1919-1928ページ	Original Article
247	Yoshida, Akihiko/ Arai, Yasuhito/ Satomi, Kaishi/他	希少がんセンター	Identification of novel SSX1 fusions in synovial sarcoma.	2022年35巻2号 228-239ページ	Original Article
248	Sin, Yooksil/ Yoshimatsu, Yuki/ Noguchi, Rei/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of NCC-MPNST6-C1: a novel patient-derived cell line of malignant peripheral nerve sheath tumors.	2022年35巻1号 400-407ページ	Original Article
249	Yoshimatsu, Yuki/ Noguchi, Rei/ Tsuchiya, Ryuto/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of novel patient-derived cell lines from giant cell tumor of bone.	2021年34巻6号 1899-1910ページ	Original Article

250	Yoshida, Akihiko/ Hashimoto, Taiki/ Ryo, Eijitsu/他	希少がんセンター	Confirmation of NKX3-1 Expression in EWSR1-NFATC2 Sarcoma and Mesenchymal Chondrosarcoma Using Monoclonal Antibody Immunohistochemistry, RT-PCR, and RNA In Situ Hybridization.	2021年45巻4号 578-582ページ	Original Article
251	Yoshida, Akihiko/ Satomi, Kaishi/ Kobayashi, Eisuke/他	希少がんセンター	Soft-tissue sarcoma with MN1-BEND2 fusion: A case report and comparison with astroblastoma.	2022年61巻7号 427-431ページ	Original Article
252	Yoshida, Akihiko	希少がんセンター	Osteosarcoma: Old and New Challenges.	2021年14巻4号 567-583ページ	Original Article
253	Sin, Yooksil/ Yoshimatsu, Yuki/ Noguchi, Rei/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of NCC-DDLPS5-C1: a novel patient-derived cell line of dedifferentiated liposarcoma.	2022年35巻3号 936-943ページ	Original Article
254	Noguchi, Rei/ Yoshimatsu, Yuki/ Sin, Yooksil/他	希少がんセンター	Establishment and Characterization of NCC-PMP1-C1: A Novel Patient-Derived Cell Line of Metastatic Pseudomyxoma Peritonei.	2022年12巻2号	Original Article
255	Ono, Takuya/ Yoshimatsu, Yuki/ Noguchi, Rei/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of NCC-UPS4-C1: a novel cell line of undifferentiated pleomorphic sarcoma from a patient with Li-Fraumeni syndrome.	2022年35巻2号 756-766ページ	Original Article
256	Tsuchiya, Ryuto/ Yoshimatsu, Yuki/ Noguchi, Rei/他	希少がんセンター	Establishment and Characterization of NCC-MFS5-C1: A Novel Patient-Derived Cell Line of Myxofibrosarcoma.	2022年11巻2号	Original Article
257	Ono, Takuya/ Noguchi, Rei/ Yoshimatsu, Yuki/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of the NCC-GCTB4-C1 cell line: a novel patient-derived cell line from giant cell tumor of bone.	2022年35巻1号 392-399ページ	Original Article
258	Ono, Takuya/Noguchi, Rei/Yoshimatsu, Yuki/他	希少がんセンター	Development of different organ derived decellularized tissue gels that support in vitro tumor cell behavior in a tumor type-specific manner	2021年65巻1号33- 37ページ	Original Article
259	Noguchi, Rei/ Yoshimatsu, Yuki/ Sei, Akane/他	希少がんセンター	Drug screening and kinase activity profiling of a novel patient-derived cell line of clear cell ovarian carcinoma	2021年65巻1号23- 31ページ	Original Article
260	Noguchi, Rei/ Yoshimatsu, Yuki/ Ono, Takuya/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of a novel cell line, NCC-DDLPS2-C1, derived from a patient with dedifferentiated liposarcoma.	2021年34巻3号 990-997ページ	Original Article
261	Tsuchiya, Ryuto/ Yoshimatsu, Yuki/ Noguchi, Rei/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of NCC-SS4-C1: a novel patient-derived cell line of synovial sarcoma.	2021年34巻3号 998-1007ページ	Original Article
262	Nakashima, Toshihisa/ Inamoto, Yoshihiro/ Aoki, Jun/他	薬剤部	Differences in kinetics of tacrolimus concentration after letermovir discontinuation by type of concomitant azole antifungal.	2022年115巻2号 158-162ページ	Original Article

263	Saito, Yoshimasa/ Kumamoto, Tadashi/ Yamaguchi, Masakazu/他	薬剤部	Use of Pegfilgrastim in Japanese Pediatric Patients With Solid Tumors: A Retrospective Analysis.	2022年44巻2号 e386-e390ページ	Original Article
264	Shimanuki, Y/ Hashimoto, H/ Kawazoe, H/他	薬剤部	Preventive effects of self-administered cryotherapy on paclitaxel-induced peripheral neuropathy in patients with early-stage breast cancer: a propensity score analysis.	2021年76巻6号 261-265ページ	Original Article
265	Abe, Kentaro/ Higurashi, Tsukasa/ Takahashi, Mio/他	薬剤部	Concomitant Use of High-dose Methotrexate and Glycyrrhizin Affects Pharmacokinetics of Methotrexate, Resulting in Hepatic Toxicity.	2021年35巻4号 2163-2169ページ	Original Article
266	Hibino, Hideyuki/ Sakiyama, Naomi/ Makino, Yoshinori/他	薬剤部	Evaluation of hepatic CYP3A enzyme activity using endogenous markers in lung cancer patients treated with cisplatin, dexamethasone, and aprepitant.	2022年78巻4号 613-621ページ	Original Article
267	Shimizu, Yoichi/ Tsuji, Katsunori/ Ochi, Eisuke/他	看護部	Oncology care providers' awareness and practice related to physical activity promotion for breast cancer survivors and barriers and facilitators to such promotion: a nationwide cross-sectional web-based survey.	2022年30巻4号 3105-3118ページ	Original Article
268	Shimizu, Yoichi/ Hayashi, Akitoshi/ Maeda, Isseki/他	看護部	Changes in depressive symptoms among family caregivers of patients with cancer after bereavement and their association with resilience: A prospective cohort study.	2022年31巻1号86-97ページ	Original Article
269	Hasegawa, Akira/ Ishihara, Toshihiro/ Allan Thomas, Matthew/他	放射技術部	Technical Note: Scanner dependence of adaptive statistical iterative reconstruction with 3D noise power spectrum central frequency and noise magnitude ratios.	2021年48巻9号 4993-5003ページ	Original Article
270	Miyazaki, Yoshiaki/ Kameyama, Masashi/ Nakamizo, Akira/他	放射技術部	Validity of the $\gamma$ -Ray Evaluation with iodoamphetamine for Cerebral Blood Flow Assessment (REICA) method for quantification of cerebral blood flow including acetazolamide challenge test.	2022年36巻3号 279-284ページ	Original Article
271	Hasegawa, Akira/ Ishihara, Toshihiro/ Thomas, M Allan/他	放射技術部	Noise reduction profile: A new method for evaluation of noise reduction techniques in CT.	2022年49巻1号 186-200ページ	Original Article
272	Hasegawa, Akira/ Ishihara, Toshihiro/ Pan, Tinsu/他	放射技術部	Impact of pixel value truncation on image quality of low dose chest CT.	2022年49巻5号 2979-2994ページ	Original Article
273	Katayama, Hiroshi/ Inomata, Masafumi/ Mizusawa, Junki/他	臨床研究支援部門	Institutional variation in survival and morbidity in laparoscopic surgery for colon cancer: From the data of a randomized controlled trial comparing open and laparoscopic surgery (JCOG0404).	2021年5巻6号823-831ページ	Original Article

274	Okuma, Hitomi Sumiyoshi/ Yonemori, Kan/ Kojima, Yuki/他	臨床研究支援部門	Clinical Utility of Circulating Tumor DNA in Advanced Rare Cancers.	2021年11巻	Original Article
275	Nakamura, Kenichi/ Ozawa, Hitoshi/ Shibata, Taro/他	臨床研究支援部門	Survey Results and Recommendations from Japanese Stakeholders for Good Clinical Practice Renovation.	2022年56巻2号 220-229ページ	Original Article
276	Shimoyama, Ryo/ Nakagawa, Kazuo/ Ishikura, Satoshi/他	臨床研究支援部門	A multi-institutional randomized phase III trial comparing postoperative radiotherapy to observation after adjuvant chemotherapy in patients with pathological N2 Stage III non-small cell lung cancer: Japan Clinical Oncology Group Study JCOG1916 (J-PORT study).	2021年51巻6号 999-1003ページ	Original Article
277	Shimoyama, Ryo/ Omori, Shota/ Nomura, Shogo/他	臨床研究支援部門	A multi-institutional randomized phase III study comparing weekly carboplatin plus nab-paclitaxel and daily low-dose carboplatin as regimens for concurrent chemoradiotherapy in elderly patients with unresectable locally advanced non-small cell lung cancer: Japan Clinical Oncology Group Study JCOG1914.	2021年51巻5号 836-841ページ	Original Article
278	Katayama, Hiroshi/ Mizusawa, Junki/ Fukuda, Haruhiko/他	臨床研究支援部門	Prognostic impact of geriatric assessment in elderly patients with non-small cell lung cancer: an integrated analysis of two randomized phase III trials (JCOG1115-A).	2021年51巻5号 685-692ページ	Original Article
279	Kadota, Tomohiro/ Minashi, Keiko/ Wakabayashi, Masashi/他	臨床研究支援部門	Diagnostic yield of conventional endoscopy with endoscopic ultrasonography for submucosal invasion of superficial esophageal squamous cell carcinoma: a post hoc analysis of multicenter prospective confirmatory study (JCOG0508).	2021年18巻3号 604-611ページ	Original Article
280	Kobayashi, Nozomu/ Takeuchi, Yoji/ Ohata, Ken/他	検診部門	Outcomes of endoscopic submucosal dissection for colorectal neoplasms: Prospective, multicenter, cohort trial.	2021年	Original Article
281	Sekiguchi, Masau/ Oda, Ichiro/ Morita, Shinji/他	検診部門	Management of elderly patients with early gastric cancer in Japan.	2022年52巻5号 425-432ページ	Original Article
282	Urago, Yuka/ Okamoto, Hiroyuki/ Kaneda, Tomoya/他	放射線品質管理室	Evaluation of auto-segmentation accuracy of cloud-based artificial intelligence and atlas-based models.	2021年16巻1号175 ページ	Original Article
283	Yoshida, Hiroshi/ Naka, Tomoaki/ Kobayashi-Kato, Mayumi/他	病理診断科	Gastric-type cervical adenocarcinoma with squamous differentiation: buried in adenosquamous carcinomas?	2021年479巻2号 407-412ページ	Original Article
284	Yoshida, Hiroshi/ Shiraishi, Kouya/ Kato, Tomoyasu	病理診断科	Molecular Pathology of Human Papilloma Virus-Negative Cervical Cancers.	2021年13巻24号	Original Article

285	Kobayashi, Yoshihisa/ Chhoeu, Chhayheng/ Li, Jiaqi/他	病理診断科	Silent mutations reveal therapeutic vulnerability in RAS Q61 cancers.	2022年603巻7900号335-342ページ	Original Article
286	Cho, Hourin/ Hashimoto, Taiki/ Naka, Tomoaki/他	病理診断科	Activating KRAS and GNAS mutations in heterotopic submucosal glands of the stomach	2022年57巻5号333-343ページ	Original Article
287	Fujikawa, Ryo/ Muraoka, Yuji/ Kashima, Jumpei/他	病理診断科	Clinicopathologic and Genotypic Features of Lung Adenocarcinoma Characterized by the International Association for the Study of Lung Cancer Grading System	2022年17巻5号700-707ページ	Original Article
288	Fukunaga, Arinobu/ Maejima, Aiko/ Shinoda, Yasuo/他	病理診断科	Prognostic implication of staging of seminal vesicle invasion in patients with prostatic adenocarcinoma after prostatectomy	2021年28巻10号1039-1045ページ	Original Article
289	Ishizu, Kenichi/ Hashimoto, Taiki/ Naka, Tomoaki/他	病理診断科	APC mutations are common in adenomas but infrequent in adenocarcinomas of the non-ampullary duodenum	2021年56巻11号988-998ページ	Original Article
290	Kashima, Jumpei/ Hishima, Tsunekazu/ Okuma, Yusuke/他	病理診断科	CD70 in Thymic Squamous Cell Carcinoma: Potential Diagnostic Markers and Immunotherapeutic Targets	2021年11巻	Original Article
291	Maeshima, Akiko Miyagi/ Taniguchi, Hirokazu/ Hori, Yoshikazu/他	病理診断科	Diagnostic utility and prognostic significance of the Ki-67 labeling index in diffuse large B-cell lymphoma transformed from follicular lymphoma: a study of 76 patients	2021年71巻10号674-681ページ	Original Article
292	Makise, Naohiro/ Mori, Taisuke/ Motoi, Toru/他	病理診断科	Recurrent FOS rearrangement in proliferative fasciitis/proliferative myositis	2021年34巻5号942-950ページ	Original Article
293	Nishimura, Yuuki/ Ryo, Eijitsu/ Yamazaki, Naoya/他	病理診断科	Cutaneous Primary NUT Carcinoma With BRD3-NUTM1 Fusion	2021年45巻11号1582-1584ページ	Original Article
294	Okubo, Yu/ Kashima, Jumpei/ Teishikata, Takashi/他	病理診断科	Prognostic Impact of the Histologic Lepidic Component in Pathologic Stage IA Adenocarcinoma	2022年17巻1号67-75ページ	Original Article
295	Satomi, Kaishi/ Ohno, Makoto/ Matsushita, Yuko/他	病理診断科	Utility of methylthioadenosine phosphorylase immunohistochemical deficiency as a surrogate for CDKN2A homozygous deletion in the assessment of adult-type infiltrating astrocytoma	2021年34巻4号688-700ページ	Original Article
296	Shibayama, Takahiro/ Makise, Naohiro/ Motoi, Toru/他	病理診断科	Clinicopathologic Characterization of Epithelioid Hemangioendothelioma in a Series of 62 Cases: A Proposal of Risk Stratification and Identification of a Synaptophysin-positive Aggressive Subset	2021年45巻5号616-626ページ	Original Article

297	Shibayama, Takahiro/ Shimoi, Tatsunori/ Mori, Taisuke/他	病理診断科	Cytokeratin-positive Malignant Tumor in the Abdomen With EWSR1/FUS-CREB Fusion: A Clinicopathologic Study of 8 Cases	2022年46巻1号 134-146ページ	Original Article
298	Teishikata, Takashi/ Shiraishi, Kouya/ Shinno, Yuki/他	病理診断科	An Alert to Possible False Positives With a Commercial Assay for MET Exon 14 Skipping	2021年16巻12号 2133-2138ページ	Original Article
299	Yamamoto, Nami/ Maeshima, Akiko Miyagi/ Taniguchi, Hirokazu/他	病理診断科	CD5-negative blastoid variant mantle cell lymphoma: a diagnostic dilemma	2021年111巻84-91 ページ	Original Article
300	Yonemaru, Junpei/ Hashimoto, Taiki/ Takayanagi, Daisuke/他	病理診断科	NTRK fusion-positive colorectal cancer in Japanese population	2021年71巻5号 355-359ページ	Original Article
301	Yoshida, Akihiko/ Arai, Yasuhito/ Satomi, Kaishi/他	病理診断科	Identification of novel SSX1 fusions in synovial sarcoma	2022年35巻2号 228-239ページ	Original Article
302	Yoshida, Akihiko/ Hashimoto, Taiki/ Ryo, Eijitsu/他	病理診断科	Confirmation of NKX3-1 Expression in EWSR1-NFATC2 Sarcoma and Mesenchymal Chondrosarcoma Using Monoclonal Antibody Immunohistochemistry, RT-PCR, and RNA In Situ Hybridization	2021年45巻4号 578-582ページ	Original Article
303	Yoshida, Akihiko/ Satomi, Kaishi/ Kobayashi, Eisuke/他	病理診断科	Soft-tissue sarcoma with MN1-BEND2 fusion: A case report and comparison with astroblastoma	2022年61巻7号 427-431ページ	Original Article
304	Yoshida, Akihiko	病理診断科	Osteosarcoma: Old and New Challenges	2021年14巻4号 567-583ページ	Original Article
305	Yoshida, Hiroshi/ Asami, Yuka/ Kobayashi-Kato, Mayumi/他	病理診断科	Genetic features of endometrioid-type endometrial carcinoma arising in uterine adenomyosis	2022年481巻1号 117-123ページ	Original Article
306	Yoshida, Hiroshi/ Kikuchi, Akira/ Tsuda, Hitoshi/他	病理診断科	Discrepancies in pathological diagnosis of endometrial stromal sarcoma: a multi-institutional retrospective study from the Japanese clinical oncology group	2022年124巻24-35 ページ	Original Article
307	Yoshida, Hiroshi/ Kiyuna, Tomoharu	病理診断科	Requirements for implementation of artificial intelligence in the practice of gastrointestinal pathology	2021年27巻21号 2818-2833ページ	Original Article
308	Yoshida, Hiroshi/ Nishikawa, Tadaaki/ Matsumoto, Koji/他	病理診断科	Histopathological features of HER2 overexpression in uterine carcinosarcoma: proposal for requirements in HER2 testing for targeted therapy	2021年478巻6号 1161-1171ページ	Original Article
309	Tsubokura, Misato/ Adegawa, Yuko/ Kojima, Minoru/他	臨床検査科	Adverse effects of cell-free and concentrated ascites reinfusion therapy for malignant ascites: a single-institute experience.	2022年22巻1号268 ページ	Original Article
310	Kasane, Moemi/ Kurosawa, Saiko/ Kojima, Minoru/他	臨床検査科	Usefulness of hematopoietic progenitor cell monitoring to predict autologous peripheral blood stem cell harvest timing: A single-center retrospective study.	2021年60巻4号	Original Article

311	Sunami, Kuniko/ Bando, Hideaki/ Yatabe, Yasushi/他	臨床検査科	Appropriate use of cancer comprehensive genome profiling assay using circulating tumor DNA.	2021年112巻9号 3911-3917ページ	Original Article
312	Aruga, Yu/ Ikeda, Chiaki/ Hanai, Arisa/ Yoshimura, Sakiko/他	臨床検査科	Convenience of Hgb-O detected by optical method in XN-series hematology analyzers in evaluating hemoglobin concentration in samples with chylous turbidity.	2021年11巻1号	Original Article
313	Kurosawa, Saiko/ Yamaguchi, Takuhiro/ Nakabayashi, Saori/他	細胞療法調整部門	Effect of donor type on volume of blood transfusions required after allogeneic hematopoietic cell transplantation.	2021年113巻4号 518-529ページ	Original Article
314	Kojima, M/ Namikawa, K/ Kase, Y/ Matsushita, H	細胞療法調整部門	Black ascites.	2021年114巻7号 523-524ページ	Original Article
315	Noda-Narita, Shoko/ Kawachi, Asuka/ Okuyama, Ayako/他	腫瘍内科	First-line treatment for lung cancer among Japanese older patients: A real-world analysis of hospital-based cancer registry data.	2021年16巻9号 e0257489ページ	Original Article
316	Shimoi, Tatsunori/ Hashimoto, Jun/ Sudo, Kazuki/他	腫瘍内科	Hotspot mutation profiles of AKT1 in Asian women with breast and endometrial cancers.	2021年21巻1号 1131ページ	Original Article
317	Saito, Ayumi/ Yoshida, Hiroshi/ Nishikawa, Tadaaki/他	腫瘍内科	Human epidermal growth factor receptor 2 targeted therapy in endometrial cancer: Clinical and pathological perspectives.	2021年12巻10号 868-881ページ	Original Article
318	Uchihara, Masaki/ Tanioka, Maki/ Kojima, Yuki/他	腫瘍内科	Clinical management and outcomes associated with etoposide, doxorubicin, and cisplatin plus mitotane treatment in metastatic adrenocortical carcinoma: a single institute experience.	2021年26巻12号 2275-2281ページ	Original Article
319	Takamizawa, Shigemasa/ Shimoi, Tatsunori/ Satomi-Tsushita, Natsuko/他	腫瘍内科	Neutrophil-to-lymphocyte ratio as a prognostic factor for patients with metastatic or recurrent breast cancer treated using capecitabine: a retrospective study.	2022年22巻1号64 ページ	Original Article
320	Shimoi, Tatsunori/ Nagai, Shigenori E/ Yoshinami, Tetsuhiro/他	腫瘍内科	Correction to: The Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guidelines for systemic treatment of breast cancer, 2018 edition.	2021年28巻4号 985-986ページ	Original Article
321	Yoshida, Hiroshi/ Nishikawa, Tadaaki/ Matsumoto, Koji/他	腫瘍内科	Histopathological features of HER2 overexpression in uterine carcinosarcoma: proposal for requirements in HER2 testing for targeted therapy.	2021年478巻6号 1161-1171ページ	Original Article
322	Takeyasu, Yuki/ Okuma, Hitomi S/ Kojima, Yuki/他	腫瘍内科	Impact of ALK Inhibitors in Patients With ALK-Rearranged Nonlung Solid Tumors.	2021年5巻	Original Article
323	Kitadai, Rui/ Shimoi, Tatsunori/ Sudo, Kazuki/他	腫瘍内科	Efficacy of second-line treatment and prognostic factors in patients with advanced malignant peritoneal mesothelioma: a retrospective study.	2021年21巻1号294 ページ	Original Article

計323件

(注)

1

当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					
2					
3					
～					

計 件

(注) 1

- 2 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入する  
記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。



(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 手順書の主な内容</li></ul> <p>&lt;研究倫理審査委員会標準業務手順書&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 委員会の運用規定</li><li>・ 審査種別ごとの手順 など</li></ul> <p>&lt;対象指針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針</li><li>・ 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針</li><li>・ ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針</li></ul>	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 11回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 規定の主な内容</li></ul> <p>臨床研究を含む当センターの研究に携わる者のCOI管理手順は、COI管理規程及びCOI委員会運営規程において定められている。</p> <p>1. 管理対象</p>	

管理対象については、COI管理規程第3条に定められており、臨床研究を行おうとする研究者が該当する。

## 2. 申告

研究者は、COI管理規程第4条により、年一回の定期申告及びCOI状況の変動の都度申告を行う。

## 3. COI委員会

COI委員会は、COI管理規程第6条により、研究者より申告のあったCOIにつき、審査を行い、理事長に対し、意見等を述べるとともに、研究倫理審査委員会等各種倫理審査委員会委員長からの研究者のCOIの申告内容、審査結果等の開示請求があれば、これに応じることとされ、さらにCOI委員会運営規程第5条に基づき、COI委員会委員長は、研究倫理審査委員会委員長等より依頼された審査の結果については、依頼元である研究倫理審査委員会委員長等に報告することとより具体的に定められている。

## 4. 指導・管理

理事長は、COI委員会の意見に基づき、COIに関し、改善が必要と判断する場合、当該研究者に対し、当該研究への参加の取りやめまでも含む改善に向けた指導・管理を行う。

## 5. 臨床研究法対応

COI管理規定第5条により、臨床研究法施行規則第21条第2項（いわゆる「事実確認」）に関する事務権限を理事長から生命倫理部COI管理室に委譲している。

③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年1回（合議） ※令和3年度書面審査件数 ：医学系指針対象研究193件（1918名）、医師主導治験140件（2856名）
---------------------------------------	--

(注) 前年度の実績を記載すること。

### (3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 3回
-----------------------	------

・研修の主な内容

6月2日開催：松井健志「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針ガイダンス」

10月7日開催：中田はる佳「COIについて」

11月4日開催：一家綱邦「倫理審査の要否とその判断基準」

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

がん専門修練医・・・新専門医制度対象者は基本領域専門医取得済み（旧専門医制度対象者はその基本領域の専門医もしくは認定医等を取得済み、もしくは取得見込み）、かつ、サブスペシャリティ領域専門医取得済み、もしくは取得見込みで、当院での研修により当該領域に特化した修練を目指す医師を対象とし、がんの診断・治療・研究に必要な高度先進的な知識と技術を有するがん診療の専門医を育成することを目的としている。研修年限は2年で、指導医のもとで高度の知識・技術の習得・開発、さらには臨床研究、トランスレーショナルリサーチ、基礎研究も実践する。各領域の将来のリーダーを目指す人材の育成を目的とした研修制度である。

レジデント（3年コース・2年コース）・・・新専門医制度対象者は基本領域専門医取得済み、もしくは取得見込み（旧専門医制度対象者はその基本領域の専門医もしくは認定医等を取得済み、もしくは取得見込み）で、当院での研修によりサブスペシャリティ専門医を目指す者を対象に複数診療科のローテーション研修、あるいは特定診療科の研修を通して、がんに関する幅広い知識と技術の習得を目指す。我が国を代表する指導医のもとでがん診療、がん研究に従事する。日本のがん医療を支える、すぐれたがん専門医を育成することを目的とした、国立がん研究センター教育・研修制度の中核となる研修制度である。2年コースについては研修開始時期が選択可能です。

レジデント短期コース・・・がん医療の均てん化に貢献することを目的として、柔軟な研修開始時期、研修期間により研修者のニーズに幅広く対応することを目的とした研修制度である。研修時期は4月、7月、10月、1月から選択可能であり、研修期間は最短で6ヶ月、最長で1年6ヶ月までである。

専攻医コース（基幹施設型・連携施設型）・・・新専門医制度のもと、当センターでの研修を希望される専門医の取得を目指す者を対象としたコースである。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	180	人
-------------	-----	---

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
成田 善孝	脳脊髄腫瘍科	科長	30 年	標榜診療科：脳神経外科
鈴木 茂伸	眼腫瘍科	科長	28 年	標榜診療科：眼科
吉本 世一	頭頸部外科	科長	30 年	標榜診療科：耳鼻咽喉科
加藤 健	頭頸部・食道内科	科長	27 年	標榜診療科：消化器内科
赤澤 聡	形成外科	科長	20 年	
首藤 昭彦	乳腺外科	科長	37 年	
米盛 勸	腫瘍内科	科長	23 年	標榜診療科：内科
渡邊 俊一	呼吸器外科	科長	31 年	
大江 裕一郎	呼吸器内科	科長	37 年	

大幸 宏幸	食道外科	科長	28 年	標榜診療科：消化器外科
吉川 貴己	胃外科	科長	34 年	標榜診療科：消化器外科
金光 幸秀	大腸外科	科長	31 年	標榜診療科：消化器外科
加藤 健	消化管内科	科長	27 年	標榜診療科：消化器内科
斎藤 豊	内視鏡科	科長	29 年	標榜診療科：消化器内科
江崎 稔	肝胆膵外科	科長	28 年	標榜診療科：消化器外科
奥坂 拓志	肝胆膵内科	科長	31 年	標榜診療科：消化器内科
松井 喜之	泌尿器・後腹膜腫瘍科	科長	26 年	標榜診療科：泌尿器科
加藤 友康	婦人腫瘍科	科長	38 年	標榜診療科：婦人科
川井 章	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	科長	35 年	標榜診療科：整形外科
山崎 直也	皮膚腫瘍科	科長	36 年	標榜診療科：皮膚科
伊豆津 宏二	血液腫瘍科	科長	28 年	標榜診療科：血液内科
福田 隆浩	造血幹細胞移植科	科長	32 年	標榜診療科：血液内科
小川 千登世	小児腫瘍科	科長	31 年	標榜診療科：小児科
上野 尚雄	歯科	医長	24 年	
佐藤 哲文	麻酔・集中治療科	科長	32 年	標榜診療科：麻酔科
里見 絵理子	緩和医療科	科長	27 年	標榜診療科：緩和ケア内科
松岡 弘道	精神腫瘍科	科長	20 年	標榜診療科：精神科
楠本 昌彦	放射線診断科	科長	36 年	標榜診療科：放射線科
井垣 浩	放射線治療科	科長	27 年	標榜診療科：放射線科
谷田部 恭	病理診断科	科長	31 年	標榜診療科：内科
山本 昇	先端医療科	科長	30 年	標榜診療科：内科
山本 昇	臨床研究支援部門	部門長	30 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

○薬剤師レジデント研修

研修の主な内容：がん薬物療法に関連する病院薬剤業務の基本的技術を修得するとともに、臨床および基礎の幅広い知識と技術の修得を図り、がん医療に精通した薬剤師を養成することを目的としている。研修期間は3年で、指導薬剤師のもとに薬剤業務や病棟業務に従事する。

研修の期間：3年間

研修の参加人数：18名(2022年3月31日の在籍者数)

○がん専門修練薬剤師研修

研修内容：国立がん研究センター薬剤師レジデント研修を修了した者、またはこれに相当する学識を有し、3年以上の臨床経験を有する者を対象とし、がん患者の薬学的管理介入や臨床薬学研究に必要な高度先進的な知識と技術を有するがん診療の専門薬剤師を育成することを目的としている。研修期間は2年で、指導薬剤師のもとで高度な知識・技術の習得・開発に努め、患者の臨床薬剤業務に従事する。

研修期間：2年間

研修の参加人数：0名(2022年3月31日の在籍者数)

○医学物理士レジデント研修

研修内容：放射線治療に必要な高度先進的な知識と技術を有する医学物理士の養成、また、チーム医療を実践する医学物理士を養成することも目的としている。研修期間は3年で、分野毎に到達目標と教育プログラムの指針が定められている。また分野毎に、常勤の認

定医学物理士がレジデントの指導者となり計3施設で研修を行う。

研修期間：3年

研修の人数：2名(2022年3月31日の在籍者数)

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

○研修の主な内容

- ・任意研修制度・受託実習制度という研修制度があり、他の医療機関に所属する医療関係者の受け入れを行っている。対象は医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、栄養士等であり、医学生や看護学生等の受け入れも行っている。

○研修の期間・実施回数

- ・研修機関：1日から1年間と幅広く設定し、延長(最長で1年)の可能である。

延長の更新回数については、制限を設けていない。

○研修の参加人数

- ・2021年度で新たに受け入れた医療従事者は13名(医師：83名、歯科医師：2名)である。その他、学生等の受け入れを300名行った。

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## XIV-1. 研究活動・研修参加状況（2021年度）

### 1. 看護部の教育実施状況

#### 1) 院内教育委員会

##### (1) 目的

看護部の理念に基づいた看護師の育成を目指し、専門職としての自律的な学習を支援すると共に、がん看護の専門性の追求、がん看護の質の向上を目指した国内外の情報の収集と発信、および院外からの研修受講者の学習の機会を提供する

##### (2) 目標

- 各レベルの到達目標達成に向けて、集合教育と分散教育を統合し、日々の看護実践に役立つ研修を実施する
- がん看護専門教育の内容の充実と専門的な知識・技術の向上を図る
- 院内外に向けて、がん看護に関する情報を発信し、学習の機会を提供する

##### (3) 内容

研修名	目標	対象者	人員	実施日
基礎看護技術研修	【目的】新人看護師が、「習得すべき基礎看護技術」を、看護基礎教育を土台に臨床実践の場で安全に実施するための知識・技術を身に付ける 【目標】1) 各看護技術の手順を理解できる 2) 各看護技術を手順の通り実施できる 3) 各看護技術を安全に実施するための根拠を理解できる 4) 各看護技術を集合教育と職場内教育を連動させ、段階的に習得する方法を学ぶ	レベルⅠ（新人）	87	4/13
1か月の振り返り	【目的】現在の自己の状況を客観的に捉え、課題を明確にできる【目標】1) 1か月を振り返り、現在困っていること・悩みを表現できる 2) グループメンバーの意見に共感することができる 3) 現在の自分の課題について指導者と話し合うことができる	レベルⅠ（新人）	47 43	5/11 5/11
コミュニケーション	【目的】自分と患者・家族、またはスタッフとの円滑なコミュニケーションのための課題を明確にし、解決策を見出す【目標】1) コミュニケーションの基本的技術を知る 2) 看護を実践するうえで、情報共有（報告・連絡・相談）が重要であることを理解する 3) 演習とグループワークを通して、自分のコミュニケーションについて考える 4) 日々の看護実践において円滑なコミュニケーションのための自己の課題を明確にし、解決に向けた対策を考える	レベルⅠ（新人）	49 40	6/01 6/01
多重課題	【目的】安全・安楽な看護実践のために、多重課題を整理し、優先度を考えることができる【目標】1) 実施すべき業務を適切に把握する 2) 自分が業務に要する時間を把握する 3) 業務に要する時間を考慮し、タイムスケジュールを立てる 4) 必要に応じて先輩に報告・連絡し、協力を依頼する 5) 助言を受けながら、患者の経過と病棟業務の流れを考慮した優先順位を考える	レベルⅠ（新人）	46 41	7/20 7/20
フィジカルアセスメント①	【目的】患者の病態を正確に捉え、適切なアセスメントに基づいた看護を実践するための基礎知識・技術を習得する【目標】1) フィジカルアセスメントの基礎知識・技術を習得する 2) 今起きている現象についてアセスメントするための情報を収集する 3) フィジカルアセスメントの基礎知識をもとに、起きている現象について正常か異常か判断する 4) 助言を受けながら、症状や各種データから患者の病態を考える 5) 緊急コールが必要な状態か判断し、先輩看護師に報告する	レベルⅠ（新人）	43 40	10/05 10/05
がん治療と看護①	【目的】がんの特徴、国の対策、治療（特徴・副作用・合併症対策）に関する基礎的知識を習得し、実践に活用する【目標】-がんの基礎知識-1) がんの病理学的特徴、発がんのメカニズム、再発、転移などの特徴について知る 2) 国のがん対策について知る-手術療法-1) 手術療法の基礎知識を習得する ・手術療法の特徴 ・手術療法に伴う合併症と合併症予防 ・手術後の回復を促進するための援助 ・手術療法に伴う心身の苦痛 2) 手術療法における看護ケアについて理解できる-放射線療法-1) 放射線療法の基礎知識を習得する ・放射線及び放射線療法の特徴 ・放射線療法の治療計画と評価 ・放射線療法の有害事象とそれに伴う心身の苦痛 ・放射線療法が確実かつ安全に実施されるための留意事項 2) 放射線療法における看護ケアについて理解できる	レベルⅠ（新人）	49 39	12/09 12/13
看護過程の展開	【目的】根拠に基づいた適切な看護実践プロセスを展開できる【目標】1) 看護過程の5つの段階（アセスメント、診断、計画、介入、評価）についてそれぞれ説明できる 2) 最善のケアを提供するために看護過程が重要であることを理解できる 3) 看護実践において看護過程を展開する	レベルⅠ（新人）	41 41	12/07 12/07
がん治療と看護②	【目的】がんの疫学、治療（特徴・副作用・合併症対策）に関する基礎的知識を習得し、実践に活用する【目標】-薬物療法-1) 薬物療法の基礎知識を習得する ・薬物療法の特徴 ・抗がん薬の作用メカニズム ・薬物療法の評価 ・抗がん薬の安全な取り扱いと確実な投与管理 ・薬物療法の副作用や合併症と看護ケア 2) 薬物療法における看護ケアについて理解できる-IVR-1) IVRの特徴とがん治療におけるIVRの意義を知る 2) IVRを受ける患者のアセスメント・有害事象対策を知り、看護師の役割の重要性を理解できる-内視鏡治療-1) 内視鏡治療の基礎知識を習得する ・内視鏡治療の特徴 ・がん治療における内視鏡治療の意義 2) 内視鏡治療における合併症と看護ケアについて理解できる	レベルⅠ（新人）	49 43	1/14 1/17
1年の振り返り	【目的】1年を振り返り、2年目に向けての自己の課題を明確にする【目標】1) この1年で学んだ内容を総括し、シミュレーションで実践することができる 2) 1年を振り返り、自分たちの成長や看護への思いを語ることができる 3) 互いの評価・課題の発表を聞き、共有できる 4) 次年度に向けての自己の課題を明確にできる	レベルⅠ（新人）	40 36	3/08 3/08



末梢静脈内注射実施認定②	【目的】末梢静脈内注射を安全に実施するために必要な知識・技術を習得し、実施できる【目標】1) 末梢静脈内注射実施における看護師の役割と責務及び実施範囲を理解できる2) 末梢静脈内注射に必要な解剖生理の基礎知識を習得する3) 末梢静脈内注射における薬剤に関する知識と管理を理解できる4) 安全な末梢静脈内注射の方法がわかり実施できる	レベルⅠ (新人)	25 17	2/01 2/03
がん治療と看護③	【目的】がん治療(特徴・副作用・合併症対策)に関する基礎的知識を習得し、実践に活用する【目標】-臨床試験-1) 臨床試験の特徴と流れを知り、臨床試験における看護師の役割の重要性を理解できる-がんのリハビリテーション-1) がんのリハビリテーションの概念を理解できる2) リハビリテーションが必要な患者の特徴を理解できる3) 基本的なリハビリテーションを実践できる-緩和ケア(概論とがん性疼痛マネジメント)-1) がんと診断された時からの緩和ケアについて理解し看護師の役割を説明できる2) がん患者の苦痛に気づき、トータルペインの視点で説明できる3) がん性疼痛に必要な薬物療法と副作用対策について理解できる	レベルⅠ	33 33	7/13 7/19
ケーススタディ	【目的】看護実践を振り返り、自己の課題を明確にする【目標】1) 「がん治療と看護①②③」で学んだ知識を活用し、患者の病態生理や治療についてまとめることができる2) 看護過程を展開し、実践した看護について考察することができる3) 互いのケーススタディを共有し学びを深めることができる4) ケーススタディにおける学びから自己の課題を明確にできる	レベルⅠ	27 23	11/30 12/01
フィジカルアセスメント②	【目的】がん患者の病態を正確に捉え、適切なアセスメントに基づいた安全・安楽な看護を実践する【目標】1) フィジカルアセスメントの基礎知識をもとに、患者の病態を正確に捉えるために必要な情報収集ができる2) フィジカルアセスメントの基礎知識と患者情報をもとに、助言を受けながら現状だけでなく重点アセスメント(原因検索・病態の予測)ができる3) アセスメントした内容をもとに、助言をSBARを用いて報告できる4) アセスメントした内容をもとに、助言を受けながら必要な看護ケアを提供する	レベルⅠ	27 25	12/14 12/14
メンバーシップとリーダーシップ	【目的】部署における自己の役割を見出し行動できる【目標】1) メンバーシップとリーダーシップの概念を理解できる2) 部署における自己の役割を述べられる3) 部署内でリーダーシップを発揮できる4) 今後リーダーとなる上での課題を見出すことができる	レベルⅡ	49	5/25
継続看護(退院支援①)	【目的】退院支援の意義を理解し、実践できる【目標】1) 退院支援が必要な患者を早期から特定する意義を想起できる2) 退院支援における看護師の役割を理解し、説明できる3) 退院支援における多職種や地域との連携の必要性を理解できる4) 退院支援に必要な社会資源を列挙できる5) 退院支援に必要な情報を収集することができる6) 医療管理上の課題と生活・介護上の課題をアセスメントすることができる	レベルⅡ	28 20	6/08 6/14
継続看護(意思決定支援)	【目的】がん患者・家族の意思決定支援における看護師の役割について理解し、自立した実践につなげることができる【目標】1) がん患者・家族の意思決定支援における看護師の役割について説明できる2) 意思決定支援における倫理的問題を列挙できる3) 意思決定場面における個性を尊重した看護介入について、事例を用いて検討できる4) がん患者・家族の思いや考え、希望を意図的に確認することができる	レベルⅡ	31 24	6/22 6/28
事例検討①(サポータティブケア)	【目的】患者・家族のニーズを捉え、適切な看護を実践できる【目標】1) 症状マネジメント・がんサバイバーシップでの学びを活かし、患者・家族の置かれている状況から標準的なニーズを捉え、整理することができる2) 症状マネジメント・がんサバイバーシップでの学びを活かし、患者・家族に必要な基本的看護ケアを考察することができる3) 上記1)2)を踏まえて実践した事例をまとめ、他受講生と情報共有することで、がん看護実践における自己の課題を見出すことができる	レベルⅡ	36	7/27
サポータティブケア(症状マネジメント)	【目的】がん患者の症状マネジメントを行う方法を習得し、実践に活用することができる【目標】1) がん患者に生じることの多い症状について、影響要因・症状出現のメカニズムを関連付けることができる2) 主な苦痛症状や基本的な治療やケアについて理解できる3) がん患者の身体的苦痛緩和におけるチームアプローチの必要性を理解できる	レベルⅡ	31 20	10/12 10/18
サポータティブケア(がんサバイバーシップ)	【目的】がん患者・家族が、がん治療中や治療後の生活を送るために必要な支援について理解できる【目標】1) がんサバイバーシップの概念について説明できる2) がん患者の心理社会的苦痛について説明できる3) がん患者・家族の社会生活(経済的問題、就労就学、ライフステージに関わる問題など)に関する一般的な問題を想起できる4) がん患者へのセルフケア支援について理解できる5) がん患者の心理社会的苦痛におけるチームアプローチの必要性を理解できる	レベルⅡ	30 19	10/26 11/01
臨床試験看護	【目的】看護師が臨床試験に携わるチームの一員であることを認識し、患者が安心して安全に臨床試験を受けるための看護師の役割を見出す【目標】1) 臨床試験における当院の使命と実施状況を理解できる2) 臨床試験の実施に必要な知識を理解できる3) 臨床試験における看護師の役割を述べることができる	レベルⅡ	27 20	11/16 11/22
看護研究	【目的】文献検索の方法や文献の入手手段を習得し、看護実践に活用することができる【目標】1) 自分の関心のあるテーマについて文献検索し、文献を入手することができる2) 看護研究論文の読み方が理解できる3) 看護研究論文を活用して、看護実践の根拠を述べることができる	レベルⅡ	33	1/25

コミュニケーションスキル	【目的】患者の感情表出を促進させるためのコミュニケーションスキルであるNURSEを習得し、患者・家族の個性に合わせた看護が実践できる【目標】1) コミュニケーションスキル的手段であるNURSEを理解し、ロールプレイを実施できる2) ロールプレイを通し、患者・家族の潜在的・潜在的ニーズを捉えることができる3) 捉えたニーズを看護実践に反映できる4) コミュニケーションスキルを向上させるための自己の課題を明確にする	レベルⅢ	24	5/23
(レベルⅢ) 急変時対応とフィジカルアセスメント	【目的】急変患者の対応を通して教育的指導のスキルを身に付ける【目標】1) 急変時に必要な看護技術を習得できる2) 急変患者の対応ができる3) 多重課題・時間切迫下での自己の特性と傾向を把握できる4) 急変対応時のリーダー役割ができる*レベルⅣの研修受講を通して、目標達成を目指す	レベルⅢ	17	7/26
ベストプラクティス	【目的】問題解決の取り組みを通して、リーダーシップを発揮する【目標】1) 問題解決技法を学び、習得する2) 自部署の問題や課題に気づき、解決方法を見出すことができる3) 自部署の問題に対し、必要な支援を受けながら見出した解決方法を実践することができる4) 自部署の問題に対する実践の成果や課題を客観的データとして示すことができる5) 集団の特性を踏まえた動機づけを行い、リーダーシップを発揮する	レベルⅢ	14	6/04
ゲノム医療	【目的】ゲノム医療を理解し、患者・家族のニーズに応じた支援ができる【目標】1) 当院で行われているゲノム医療の概要を説明できる2) ゲノム医療における看護師の役割について説明できる3) がん患者・家族のゲノム医療に対する思いや考えを意図的に確認することができる4) がん患者・家族のゲノム医療に対するニーズを明確にして、支援に必要な職種への協力依頼ができる	レベルⅢ	19 25 25	9/07 9/13 9/13
がん医療と看護倫理	【目的】がん医療における倫理的課題を理解し、解決に向けてチームで取り組むことができる【目標】1) 看護実践における倫理的な知識・態度・考え方を理解できる2) がん医療における倫理的課題を述べることができる3) 倫理的課題を解決に導くための方法を知る4) 倫理的課題についてチームで取り組むことができる5) がん治療、療養過程において、患者・家族の権利を理解した意思決定支援ができる	レベルⅢ	21	11/09
教育担当者研修①	【目的】成人学習者の特徴を理解し、効果的な教育方法を考える【目標】1) 看護職者の特徴を成人学習者の特徴と関連付けて説明できる2) 専門職業人としての後輩育成の必要性を述べる3) 教育的かわりに対する自己の課題傾向を明らかにする4) 成人学習者の特徴をふまえて自部署の指導計画を立てる5) 後輩育成における自己の課題について述べる	レベルⅢ	22	1/18
教育担当者研修②	【目的】次年度教育担当者を担う看護師が、役割を理解し、必要な知識・技術・態度を習得する【目標】1) 「新人看護師研修ガイドライン【改訂版】」に示された教育担当者の役割を理解する2) 当院における教育担当者の役割を理解する3) 教育対象者(主に新人看護師)の特徴を理解する4) 各看護単位における教育体制を主体的に構築できる5) 所属部署における教育体制を主体的に構築できる	レベルⅢ	24	2/08
共育リフレクション	【目的】後輩育成の意味を見出し、自己の役割に対する意欲を高める【目標】1) 後輩育成の必要性を理解する2) 後輩育成に必要なコミュニケーションを理解する3) 日々の後輩指導を振り返り、自己の成長を見出すことができる4) 後輩指導における自己の役割を明確にし、今後の関わり方について述べる	レベルⅡ	36	6/15
末梢静脈注射実施認定①	【目的】末梢静脈内注射を安全に実施するために必要な知識・技術を習得し、実施できる【目標】1) 末梢静脈内注射における看護師の役割と責務及び実施範囲を理解できる2) 末梢静脈内注射に必要な解剖生理の基礎知識を習得する3) 末梢静脈内注射における薬剤に関する知識と管理を理解できる4) 安全な末梢静脈内注射の方法がわかり実施できる	レベルⅠ	5	5/03
レポートの書き方	【目的】ジェネラリストリーダーレベル申請に必要な課題レポートの書き方を習得する【目標】1) 基本的な文章の書き方がわかる2) 症例報告の構成を理解できる3) 提出前の構成ができる	レベル共通(全看護師)	53	7/15
がんのリハビリテーション	【目的】がんのリハビリテーションを理解し、実践に活かすことができる【目標】1) がんのリハビリテーションの実際を理解できる2) 多職種と連携し、患者のニーズに対応したリハビリテーションを実践できる3) がんのリハビリテーションを推進するための看護師の役割を理解できる4) 所属部署におけるリハビリテーションの問題点と解決方法に取り組むことができる	レベル共通(レベルⅢ以上)	10	7/08
がん薬物療法看護	【目的】がん薬物療法における最新の知識・技術とその実際について理解を深め、がん薬物療法を受けるがん患者とその家族のQOL向上を目指した主体的な療養生活を支援する【目標】1) がん薬物療法看護の特徴と看護師の役割について理解できる2) がん薬物療法に用いられる薬剤の特徴と注意事項を理解できる3) がん薬物療法の目的、治療計画、レジメンを理解する意義を知り、レジメンアセスメント項目について理解できる4) がん薬物療法を受ける患者のアセスメント項目について理解できる5) がん薬物療法の代表的な副作用症状を理解し、セルフケア支援を実践できる6) がん薬物療法に用いられるレジメンのアセスメント項目について理解できる7) レジメンを取り上げて、投与管理上の留意点、注意すべき有害反応とその予防策・対応策、セルフケア支援を計画することができる	レベル共通(レベルⅢ以上)	10	10/28
看護管理研修①	【目的】自部署の目標をもとに課題を見出し、目標達成のための実践活動を行う【目標】1) PDP(Problem-Discovery-Process)PDCAを用いて問題解決を行う2) 問題解決を繰り返す過程で、組織学習を体得する3) 自部署の目指す方向性について考え、目標を具体的に示すことができる	レベル共通(レベルⅢ以上)	9	7/07

看護師による抗悪性腫瘍薬の末梢静脈注射認定	【目的】「看護師等による静脈注射実施基準」に則り、病院長より認定を受け、かつ、医師の指示のもとに投与する抗悪性腫瘍薬の作用・副作用を十分理解し、卓越した注射技術を習得し実践する。【目標】1. 静脈注射の実施に伴う看護師の責任・倫理的配慮について理解する2. 抗悪性腫瘍薬の副作用、有害事象への対処方法、血管外漏出の対応、緊急時の対応についての知識・技術を習得する3. 静脈注射に伴うリスクマネジメント・感染防止対策について理解し、実践できる4. 正しい知識のもとに安全に末梢静脈カテーテル・皮下埋め込み型ポート針留置を実施できる	レベル共通（レベルⅢ以上）	21	11/09
実地指導者研修	【目的】次年度実地指導者となる看護師が、役割を理解し、必要な知識・技術・態度を習得する【目標】1) 実地指導者に求められる役割、能力を理解する2) 実地指導で求められる知識・行動・態度について考えることができる3) 実地指導を通しての自己の成長に意欲を示す	レベルⅡ	45	2/15
事例検討②（継続看護）	【目的】患者・家族のニーズを捉え、適切な看護を実践できる【目標】1) 退院支援・意思決定支援での学びを活かし、患者・家族の置かれている状況から標準的なニーズを捉え、整理することができる2) 退院支援・意思決定支援での学びを活用し、患者・家族に必要な基本的な看護ケアを考察することができる3) 上記1) 2) を踏まえながら実践した事例をまとめ、他受講者と共有することで、がん看護ケアの実践における自己の課題を見出すことができる	レベルⅡ	27	12/21
医療安全教育	【目的】基準・手順に基づく安全な看護を提供できる【目標】1) 医療安全を学ぶ目的を理解できる2) 看護を安全に実施するための基準・手順を理解し、適切に実施できる3) 安全な看護実践のために必要な報告・連絡・相談を適切に実施できる4) インシデント報告の目的を理解し、適切に報告できる5) 安全管理に関する自部署における自己の役割を説明できる	レベルⅡ	44	10/19
退院支援②	【目的】がん患者と家族のQOL維持向上を目指した退院支援が実践できる【目標】1) がん患者の退院支援の特徴とプロセスを理解できる2) がん患者の退院支援における課題を整理し、アセスメントすることができる3) 活用できる社会資源を理解し、基本的な退院調整ができる4) 退院支援・退院調整の場面で発生する診療報酬を理解できる5) 患者・家族の意向に沿うために、チームアプローチの重要性を理解できる	レベルⅢ	20	9/14
既卒採用者交流会	【目的】既卒採用者が職場に適切に、自身の能力を発揮しながら組織の一員として職務を遂行することができる【目標】1. 自分の思いを言葉で表出し、既卒者間で思いを共有することができる2. 現在感じているストレスに対して、その対処方法について考えることができる3. 自身のキャリアや能力を再確認し、当院での役割発揮について考えることができる	レベル共通（全看護師）	8 0	7/13 2/10
（レベルⅣ）急変時対応とフィジカルアセスメント	【目的】急変患者の対応を通して、教育的指導のスキルを身に付ける【目標】1) 急変時に必要な教育的指導方法（指導技術やデブリーフィング）が理解できる2) 教育的指導ができる	レベルⅣ	5	7/26
（レベルⅢ）急変時対応とフィジカルアセスメント フォローアップ研修	【目的】本研修における自己の到達度を認識し、スキルのさらなる獲得と定着に繋げる【目標】1. 本研修での学びを再確認することができる2. 現時点での自己の実践力について振り返ることができる3. 今後の自己の課題を明確にできる	レベルⅢ	10 9	12/08 1/07
既卒採用者交流会②	【目的】既卒採用者が職場に適切に、自身の能力を発揮しながら組織の一員として職務を遂行することができる【目標】1. 自分の思いを言葉で表出し、既卒者間で思いを共有することができる2. 現在感じているストレスに対して、その対処方法について考えることができる3. 自身のキャリアや能力を再確認し、当院での役割発揮について考えることができる	レベル共通（全看護師）	9	2/10

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 島田 和明	
管理担当者氏名	医療安全管理部：楠本 昌彦 薬剤部：古川 哲也 放射線技術部：麻生 智彦 臨床検査部：前澤 直樹 統括事務部長：曾我 将久 医事管理部：曾我 将久 研究管理部：後澤 乃扶子 人材育成センター：大江 裕一郎 臨床工学部門：入江 景子	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の第三第二項に掲げる事項	病院日誌	医事管理課
		各科診療日誌	医事管理課
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医事管理課
		看護記録	医事管理課
		検査所見記録	医事管理課
		エックス線写真	放射線技術部
		紹介状	医事管理課
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医事管理課
			<p>・診療に関する患者記録は全て（入院、外来問わず）一患者一ファイル方式で管理。</p> <p>(1)診療録等は永久保存</p> <p>(2)内視鏡フィルム、10年保存</p> <p>(3)フィルム（内視鏡フィルム除く）、5年保存</p> <p>(4)病理、細胞診プレパラート、20年保存</p> <p>・診療録の院外への持ち出しについては、原則禁止。例外的に持ち出す際は、リスクレバル評価に応じたセキュリティ対策を講じる。</p>
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の第三第二項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事課
		高度の医療の提供の実績	医事管理室
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究管理課
		高度の医療の研修の実績	専門教育企画室
		閲覧実績	総務課、医事管理課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事管理室
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部、医事管理課
	規則第一条の第十一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	
			<p>・保管を管轄する各部門が、部門システムあるいは台帳等により管理。</p> <p>・保管を管轄する各部門が、部門システムあるいは議事録や台帳等により管理。規定遵守による体制維持に努めている。</p>

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御室	・保管を管轄する各部門が、部門システムあるいは議事録や台帳等により管理。規定遵守による体制維持に努めている。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御室	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御室	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室 放射線部門 臨床検査部門 臨床工学部門	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	放射線部門 臨床検査部門 臨床工学部門	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	放射線部門 臨床検査部門 臨床工学部門			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	放射線部門 臨床検査部門 臨床工学部門			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御室
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理室
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理室
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	診療の質管理室
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	診療の質管理室
		監査委員会の設置状況	医療安全管理室
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理室
		職員研修の実施状況	医療安全管理室
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理室
管理者が有する権限に関する状況	医療安全管理室		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	医療安全管理室		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	医療安全管理室		

・保管を管轄する各部門が、部門システムあるいは議事録や台帳等により管理。規定遵守による体制維持に努めている。

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	総務課長、医事管理課長	
閲覧担当者氏名	文書管理係長、入院外来係長	
閲覧の求めに応じる場所	総務部総務課、医事管理部医事管理課	
閲覧の手続の概要 『独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(平成13年12月5日法律第140号)』及び『独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律施行令(平成14年6月5日政令第199号)』に基づき以下の当センター規定に則り閲覧を含む開示手続きを行う。 ・国立研究開発法人国立がん研究センター情報公開手続規程(平成22年4月1日規程第49号) ・国立研究開発法人国立がん研究センター情報公開手数料規程(平成22年4月1日規程第48号) ・国立研究開発法人国立がん研究センター情報公開審査基準(平成22年4月1日規程第50号) 具体的には、総務部総務課を情報公開窓口として、以下の手続きを行う。 ①開示請求者より、法人文書開示請求書(規定様式)の提出と手数料の支払いが行われる。 ②①に不備がある場合は、補正依頼公文(規定様式)を送付する。 ③請求文書の特定と開示可否の審議を行い、審議結果に応じて、法人文書開示決定通知書又は法人文書不開示決定通知書を開示請求者に送付する。 ④請求の内容により、期限の延長又は事案の移送が必要な場合は、それぞれ規定に基づき通知公文を開示請求者に送付する。 ⑤③を受け、開示請求者が開示実施を希望する場合は、規定の実施方法等申出書を提出する。 ⑥⑤の実施方法等申出書及び開示実施に係る規定手数料を受け、文書の開示を実施する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	☑・無
<p>・ 指針の主な内容： 平成30年10月1日改訂</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療に係る安全管理のための基本的な考え方</li> <li>2) 医療に係る安全管理のための組織及び委員会等に関する基本的事項</li> <li>3) 医療に係る安全管理のための職員研修</li> <li>4) 医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策</li> <li>5) 医療事故発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6) 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針</li> <li>7) 患者からの相談への対応に関する基本方針</li> <li>8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li> </ol>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（☑・無）</p> <p>・ 開催状況：年 14 回</p> <p>・ 活動の主な内容： 医療安全管理室へ報告される全てのインシデント・アクシデント事例、有害事象例について、月1回医療安全管理部会で原因分析や再発防止対策、業務改善事項の検討をしている。その後、病院長が委員長である医療事故等防止対策委員会（月1回）に報告・承認後、決定事項を医療安全担当副院長から、リスクマネージャー・サブリスクマネージャー会議（月1回）にてリスクマネージャー・サブリスクマネージャーに伝達し、所属職員に周知徹底を図っている。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の内容（すべて）： &lt;全職員研修：医療安全講演会&gt;</p> <p>第1回「患者誤認を防止しよう」（R3. 6. 21～）Web開催（eラーニング）</p> <p>第2回「患者・家族、医療者と向き合って ～15年間の患者対応からお伝えしたい事～」 （R3. 10. 19～）Web開催（eラーニング）</p> <p>*年2回受講率 100%（DVD上映・閲覧含む）</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（☑・無） 医療安全管理体制の確立・医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法等について、医療事故等防止安全管理規程を定め、医療事故等防止対策委員会、医療安全管理部会を設置。また、各診療科・各看護単位・各部門にリスクマネージャーを配置している。インシデント・アクシデントが発生した場合は、電子カルテにログインして起動するインシデント報告分析支援システム（略称CLIP；有害事象報告を含む）を通じて、各部署より医療安全管理室に報告される体制。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： リスクマネージャー・サブリスクマネージャー会議での説明・指示・伝達（月1回） インシデント防止目標の提示（隔月） 医療安全ニュースの発行（月1回） 職員全員参加の研修会の実施（年2回） 医療安全ポケットマニュアル（約200頁からなり、全職員携行を義務</p>	



付) の年1回の更新  
事例集の発行 (年1回)

- 過去3年間の報告件数 (インシデント・アクシデント) :
  - 令和 3年度 6347件
  - 令和 2年度 6400件
  - 令和元年度 5780件
- 過去3年間の報告件数 (診療関連重篤有害事象) :
  - 令和 3年度 626件
  - 令和 2年度 540件
  - 令和元年度 473件

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<p>・ 指針の主な内容：                  感染対策の基本的考え方、院内感染対策体制の整備(院内感染対策委員会、感染制御室、感染対策チーム、感染制御室長、副感染制御室長、院内感染管理者、感染制御室専任医師の設置)、職員に対する研修に関する基本方針、感染症の発生状況の報告に関する基本方針、院内感染発生時の対応に関する基本方針、患者等への情報提供と説明に関する基本方針、その他、院内感染対策推進のために必要な基本方針、抗菌薬適正使用推進のために必要な基本方針について。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：                  院内感染発生動向の監視と効率的な院内感染対策が実施できるように、感染制御室および感染対策チームの活動支援を行う。感染制御室、感染対策チームで検討した課題や提案された事項について審議、決定を行う。                  新型コロナウイルス感染症対策WG定例会議（1回/週）</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：                  &lt;全職研修：院内感染対策講演会&gt;                  第1回 「標準予防策を極める」 (R3. 5. 26) 当院感染制御室 室員                  第2回「チームで高める感染対策」(R3. 10. 29) 東京慈恵会医科大学付属病院 医師:中澤 靖                  看護師:美島 路恵                  延べ参加人数：1551名 受講率：第1回100.0%、第2回100.0% (インターネット視聴・DVD視聴を含む)                  &lt;その他&gt;                  実技確認の機会として「感染対策実技トレーニング」(年10回および各部門での開催)など</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☑・無 )                  ・ その他の改善のための方策の主な内容：                  1. 院内感染上重要な病原体の検出時には、微生物検査室から担当医とともに感染制御室に電話連絡され、患者の状態を把握後、当該部署に必要な対応について指示している。                  2. 病院長には週に2回、感染制御室長もしくは院内感染管理者が院内の状況を日報として報告している。これらをまとめ毎月の院内感染対策委員会に報告している。                  3. アウトブレイクが疑われた場合は、速やかに調査・状況把握を開始し、必要に応じて臨時院内感染対策委員会を招集するとともに、全職員対象メールやリスクマネージャー・サブリスクマネージャー会議を通じて院内全体に対応を周知する体制としている。                  4. 新たな感染症発生時には、臨時委員会の開催や講演会を実施している。                  5. 重大なアウトブレイク発生時などには、保健所など外部機関に報告・相談し、速やかな収束および再発防止を図る体制となっている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>2021/6/15 麻薬管理について</p> <p>2021/9/15 がん患者の血糖管理 知識編</p> <p>2021/9/29 がん患者の血糖管理 薬剤編</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (☑・無)</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 医薬品の適正な購入及び各種規制を遵守した適正な管理</li> <li>- 病棟常備薬の適正な配置と保管・管理状況の把握および指導</li> <li>- 外来及び入院患者の処方薬の調剤及び指導</li> <li>- 外来及び入院患者への医薬品の使用</li> <li>- 医薬品情報の収集・管理・提供</li> <li>- 持参薬鑑別による情報収集と情報共有</li> <li>- 他医療機関との医薬品使用に関する情報の共有と連携医薬品の安全使用に関する教育・研修の実施</li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☑・無)</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば)：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 造血幹細胞移植後のアデノウイルス感染症に対するcidofovirの投与</li> </ul> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 病棟薬剤師による各病棟への医薬品安全使用に関する情報周知の徹底</li> <li>- 安全性速報 (ブルー・イエローレター) の院内周知の徹底</li> <li>- 薬剤部HP・コンテンツの改善</li> <li>- 投与時に注意が必要な薬剤に対する注意喚起を目的とした一覧の作成及び院内周知</li> <li>- 複数規格のある薬剤の規格の取り違え防止を目的とした表示名称の工夫</li> <li>- 同種同効薬の採用に際し、安全使用を目的として力価・包装等の院内資料を作成し配布</li> <li>- ハイリスク薬に対する注意喚起のため、定義と注意事項を周知</li> <li>- 調剤時に医薬品の取り違いを防止するためにバーコード認証を利用した調剤支援システムの導入</li> <li>- 適応外使用、未承認薬使用の把握及び申請における管理</li> <li>- 抗がん剤レジメン審査の管理</li> <li>- 院外薬局との医薬品使用に関する情報共有と連携の実施</li> <li>- SGLT2阻害薬の術前休薬期間 (糖尿病学会recommendation) について院内周知</li> <li>- 添付文書の電子化について、添付文書の閲覧方法を院内に周知</li> <li>- 院内のポリファーマシー対策として、薬事委員会にポリファーマシー対策小委員会を設置し、多職種からなるポリファーマシー対策チームを組織して稼働</li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置  
 〈放射線部門〉

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年139回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：                      新規医療機器設置後、定期点検後ならびにバージョンアップ後に                      添付文書に基づく使用方法、注意点、変更点、管理方法等について研修を実施</li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 ( ☑・無 )</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：                      職員による日常点検の実施と不備事象の適宜報告                      機器メーカーによる保守・定期点検の計画・実施・報告の実施</li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( ☑・無 )                      PMDAやメーカー、国立病院機構からの情報周知等</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ( 無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：                      機器メーカーによる定期点検の実施、職員による日常点検の実施と不備事象の適宜報告                      修理・事故原因報告に基づいた機器・ソフトの改修ならびにバージョンアップ                      業務マニュアルの定期的な改訂 使用・運用マニュアルの定期的な改訂                      定期的な勉強会の実施と自己研鑽の推奨                      定期的なインシデント報告会、危険予知トレーニングによる医療機器の安全使用についての検討                      医療安全管理室と連携し、関連職員（医師、看護師、看護助手）へのMRI磁場体験および                      eラーニングの実施                      放射線治療に至るまでの全体的な行程を理解する放射線治療行程研修を開催</li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

<臨床検査部門>

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 8 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： 新規検査機器導入時の院内研修 検査機器の保守点検・消耗品交換・不具合発生時の対応等に関するメーカー研修などを実施 入職者に対する伝達講習</li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 (☑・無)</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容： ISO15189:2012規格に準じたメーカーによる定期点検計画の実施・作業報告書の保管 医療機器の日常点検の実施および実施記録の保管</li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無)</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)：無  PMDA、メーカー、国立病院機構からの情報収集</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日常点検の実施</li> <li>2) 定期点検の実施</li> <li>3) 機器操作手順書の整備・改訂・周知</li> <li>4) 日当直業務実施のための機器操作トレーニング</li> </ol> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置  
 (臨床工学部門)

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年126回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：                      人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器等の特定保守管理機器を中心に研修計画を立て、使用方法、管理方法、注意事項、不具合対応について実施。新規導入医療機器についても導入時、バージョンアップ後等必要に応じて実施。</li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 ( 有・無 )</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：                      除細動器、人工呼吸器、血液浄化装置、電気メス、シリンジ・輸液ポンプ、モニタ類等について、機器購入時に計画を立て、機器管理システムにて管理。臨床工学技士またはメーカーによって日常点検、定期点検を実施。</li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( 有・無 )</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば) : 無</li>   <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：                      PMDAやメーカー、医療安全管理室より情報を収集し、勉強会(説明会)の開催、使用マニュアル改訂、現場管理者へ通知、各会議等で周知して改善している。</li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・責任者の資格（医師）                  ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者として、医療安全担当副院長を任命済み。                  医療安全管理室の室長であり、医療事故等防止対策委員会には副委員長として出席している。                  また、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者から、報告を受ける体制が構築されている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> （8名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報の収集・管理・提供は主として薬剤部医薬品情報管理室にて行っており、周知は定期的（月1回）な医薬品情報誌の発行、医薬品集の発行（年1回）、タイムリーなお知らせ文書の発行等を、印刷物・メール・イントラネット掲載等を利用して行っている。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>院内で使用する医薬品は薬剤部で一元管理する体制をとっており、医薬品の適応外使用については、薬事委員会（適応外使用小委員会）で審査・報告等を行い、病院長の許可を得て使用をしている。未承認医薬品の使用については、高難度新規医療技術等評価委員会（未承認薬使用小委員会）で審査・報告等を行なう体制としている。また、薬剤部では、未承認医薬品使用、適応外使用、禁忌の使用について、所定の手続きを行っていない処方例について、薬剤師が把握した情報を集約する体制としている。</p> <p>・担当者の指名の有無 <input checked="" type="checkbox"/>・無</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ） （所属：各診療科， 職種 医師「各診療科長」 ）                  （所属：看護部 ， 職種 看護師長 ） （所属：臨床検査科， 職種 臨床検査技師長 ）                  （所属：放射線技術部 ， 職種 診療放射線技師「技術部長」） （所属：輸血管理室， 職種 医師）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p>	

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容  
 :

全死亡症例における最終治療に関する患者説明状況調査

全有害事象報告における当該事象に関する事前の患者説明状況調査

上記調査結果から対応が必要と判断した診療科に対し、改善指導の実施及び説明文書の新規作成と改訂依頼

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療情報管理係において、退院時要約を含む診療録等の確認・管理を行い、診療統計の一部の算出を行っている。</p> <p>診療情報管理委員会において、診療録や入院診療計画書の監査を実施している。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・所属職員：専従（ 8 ）名、専任（ ）名、兼任（ 6 ）名</p> <p>うち医師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ 4 ）名</p> <p>うち薬剤師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ 1 ）名</p> <p>うち看護師：専従（ 4 ）名、専任（ ）名、兼任（ 1 ）名</p> <p>うち事務員：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療安全に関する現場の情報収集及び実態調査        （定期的な現場の巡回・点検、理解度の確認、マニュアルの遵守状況の点検）</li> <li>2) 医療事故防止対策マニュアルの作成及び点検、見直し</li> <li>3) 部門別に作成されているマニュアルの確認及び見直しの提言</li> <li>4) インシデント・アクシデント・有害事象報告        （インシデント・アクシデント・有害事象事例を体験した医療従事者が、その概要を記載した文書をいう。以下同じ）の収集、保管、分析、分析結果などの現場へのフィードバックと集計結果の管理、具体的な改善策の提案・推進とその評価（改善策の周知確認）</li> <li>5) 医療安全管理に関する最新情報の把握と職員への周知（他施設における事故事例の把握等）</li> <li>6) 医療安全に関する職員への啓発、広報（月間行事の実施など）</li> </ol>	



7) 医療安全に関する教育研修の企画・運営、教育研修の理解度確認

8) 医療安全管理に係る連絡調整

※モニタリング実施状況：

医療安全管理指標として17項目（「インシデント・アクシデント報告件数」「有害事象報告件数」「インシデント・アクシデントレベル別割合」「患者誤認事例件数」「放射線診断レポート未開封割合」「病理診断未開封レポート割合」「抗がん薬血管外漏出割合」等）についてモニタリングしている。

医療安全ニュースやリスクマネージャー会議の周知内容、医療安全講演会の内容、医療事故防止対策マニュアルの所在確認、自部署でおきたインシデントの情報共有方法、医療事故調査制度で報告すべき事案について、医療安全ポケットマニュアルの携帯状況、インシデント報告システムの確認、内部通報窓口の場所と報告方法、患者のアレルギーの入力の方法等について、部署ラウンドで職員へ確認している。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。  
※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（5件）、及び許可件数（5件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：  
診療の質管理室（技術提供の適否を決定する部門）が高難度新規医療技術の導入申請を受け、部門内の関係者で確認し、高難度新規医療技術等評価委員会に申請技術の導入適否に関して意見徴取を行う。その意見に基づき、診療の質管理室の室長が申請技術の導入可否を決定する。導入した技術については、申請診療科に事後評価報告を依頼し、当該技術が適切に実施しているか確認している。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（3件）、及び許可件数（3件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）

・活動の主な内容：

高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関する委員会の事務局業務及び委員会の検討結果の通知に対して承認・非承認を決定し病院長に報告する。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

#### ⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 320 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：

インシデント・アクシデント報告：令和3年度 6347 件

有害事象報告：令和3年度 626 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

死亡症例については、医事管理課から医療安全管理室へ、1週間毎に全死亡患者リストを報告する仕組みがある。入院患者が死亡した場合は、医師が死亡日時、治療及び死亡前の状況、治療中及び最終治療日から30日以内に発生した死亡の有無を遅滞なく報告し、医療安全管理室で内容に問題がないか毎日カルテレレビューしている。医事管理課からの死亡患者リストは、医療安全管理室で最終治療に関する説明・同意書の有無や診療内容の確認をし、病院長と複数の副院長によるカルテレレビュー結果を医療安全管理室で確認し、再調査となった場合、診療科への確認と医療安全管理部会での分析・対策立案を経て、医療事故等防止対策委員会へ報告・審議となる。

重大事例については、医療安全管理室での説明・同意書の有無や診療内容の確認し、必要時は診療科と症例検討会を実施した上で、医療安全管理部会での分析・対策立案を経て、医療事故等防止対策委員会へ報告・審議となる。

死亡症例、重大事例とも、医療事故等防止対策委員会にて承認された対策は、病院長による関係診療科への指導や、医療安全担当副院長からリスクマネージャー・サブリスクマネージャー会議にて伝達し、職員に周知徹底を図る体制となっている。

<p>⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の特定機能病院等への立入り（<input checked="" type="checkbox"/> web 開催（病院名：愛知医科大学病院）・無）</li> <li>・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（<input checked="" type="checkbox"/> web 開催（病院名：愛知医科大学病院）・無）</li> <li>・技術的助言の実施状況 特記なし</li> </ul>
<p>⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体制の確保状況 安全管理に係る相談窓口として、相談支援センターを設置している。 患者へは院内ポスター提示、リーフレット設置等により周知している。その後、相談支援センターから患者医療対話推進室へ対応依頼される仕組みがある。患者医療対話推進室では、相談支援センターや病棟等から相談等を受けた後、関係部署から事実関係等を聴取の上、対応を実施している。医療安全管理上の問題は、医療安全管理室へ情報共有され連携して改善策を立て対応している。</li> </ul>

<p>⑫ 職員研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の実施状況 外部監査委員会や医療安全相互ラウンドで指摘された事項（医療安全管理部の目標設定や IC に関する患者・家族の反応記載）や特定機能病院承認要件（内部通報窓口や外部監査委員会の設置、医療安全管理室ラウンドの実施）について、令和 2 年度第 2 回医療安全講演会で全職員へ周知した。</li> </ul>
--

(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

<p>⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の実施状況 管理者：公益財団法人日本医療機能評価機構主催 「令和 2 年度特定機能病院管理者研修 1 日間」令和 2 年 11 月受講 「令和 3 年度特定機能病院管理者研修 1 日間」令和 3 年 12 月受講 医療安全管理責任者：公益財団法人日本医療機能評価機構主催 「令和 2 年度特定機能病院管理者研修 1 日間」令和 2 年 10 月受講</li> </ul>
---

「令和3年度特定機能病院管理者研修1日間」令和3年11月受講

医薬品安全管理責任者：一般社団法人日本病院薬剤師会主催

「令和2年度特定機能病院管理者研修1日間」令和2年11月受講

「令和3年度特定機能病院管理者研修1日間」令和3年11月受講

医療機器安全管理責任者：公益財団法人日本医療機能評価機構主催

「令和2年度特定機能病院管理者研修1日間」令和2年11月受講

「令和3年度特定機能病院管理者研修1日間」令和3年11月受講

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

病院機能評価（一般病院3）3rdG:Ver.2.0

受審日：2019年2月5日～2月7日

認定日：2019年8月9日（認定期限2023年11月16日）

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

上記について、改善要望事項に該当する項目の指摘はなかった。

公表については、病院機能評価の審査結果報告書を病院ホームページに掲載している。

・評価を踏まえ講じた措置

全88評価（S評価:4、A評価:69、B評価:15、C評価:0）において、B評価とA評価でも課題だと思われる項目については、2020年11月の認定期間中における中間審査（改善状況報告）までに改善措置を実施した。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 病院において、以下のいずれかの業務に従事した経験を有し、医療安全管理に関する十分な知見を有するとともに、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力を有していること                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務</li> <li>イ 医療安全管理委員会の構成員としての業務</li> <li>ウ 医療安全管理部門における業務</li> <li>エ その他上記に準じる業務</li> </ul> </li> <li>(2) 当該病院内外において組織管理経験があり、高度の医療の提供、開発及び評価等を行う特定機能病院の管理運営上必要な資質及び能力を有していること</li> <li>(3) 中央病院及び東病院の理念及び基本方針を十分に理解し、高い使命感を持って継続的かつ確実に職務を遂行する姿勢と指導力を有していること</li> </ul> </li> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 )</li> <li>・ 公表の方法：病院ホームページ</li> </ul>

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( 有・無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( 有・無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( 有・無 )</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		☑・無	
<ul style="list-style-type: none"> <li>合議体の主要な審議内容 病院の運営の方針、中期計画、予算及び決算その他の病院の運営に関する重要な事項</li> <li>審議の概要の従業者への周知状況 病院運営会議の議事概要を作成し、病院全体に周知</li> <li>合議体に係る内部規程の公表の有無（☑・無）</li> <li>公表の方法 病院ホームページ</li> <li>外部有識者からの意見聴取の有無（☑・無） 規程上、議長が必要と認める者（外部有職者を含む）を病院運営会議に参加させることができるとしている。</li> </ul>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
島田 和明	○	医師	病院長
尾崎 俊雄		事務	理事長特任補佐
藤元 博行		医師	副院長
山本 昇		医師	副院長
大江 裕一郎		医師	副院長
楠本 昌彦		医師	副院長
吉本 世一		医師	副院長
關本 翌子		看護師	看護部長
古川 哲也		薬剤師	薬剤部長
奥坂 拓志		医師	内科系部門長
金光 幸秀		医師	外科系部門長
小林 望		医師	検診センター長
鈴木 達也		医師	企画戦略局次長
麻生 智彦		診療放射線技師	診療放射線技術部長
前澤 直樹		臨床検査技師	臨床検査技師長
曾我 将久		事務	統括事務部長
梶野 浩司		事務	財務経理部長
船越 裕		事務	人事部長
吉浪 誠治		事務	企画経営課長
大島 朗		事務	財務管理課長
宇内 健治		事務	医事管理課長

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・）
- 公表の方法

- 規程の主な内容

理事会規程：病院の運営に関する事項が審議される際には、病院長は理事会に出席し、意見を述べることができる。

組織規程：院長は、病院の事務を掌理する。また、特定機能病院としての機能を確保するために必要な事項に関して、理事長に意見を述べる旨規定。

- 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

組織規程：副院長は、院長を助け、病院の事務を整理する。

企画経営部を設置し、センターの業務の企画及び調整に関する事、センターの経営に関する事の事務をつかさどる旨規定。

- 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

国立病院機構が主催する以下研修に参加

- 中間管理職新任研修
- 薬学生実務実習対策研修
- 障害者雇用にかかる就労支援研修
- 診療放射線技師実習技能研修
- 認定看護管理者教育課程

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する  
状況

監査委員会の設置状況					<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>監査委員会は、医療の安全の確保を図るため、理事長が設置するものとし、次に掲げる業務を行う。</p> <p>(1) 医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療事故等防止対策委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、その他監査委員会として必要と認めるものの業務の状況について病院長、その他監査委員会として必要と認めるものから報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施する。</p> <p>(2) 必要に応じ、理事長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見表明を行う。</p> <p>(3) (1) 及び (2) に掲げる業務について、その結果を公表する。</p> <p>・監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>・無 )</p> <p>・委員名簿の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>・無 )</p> <p>・委員の選定理由の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>・無 )</p> <p>・監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>・無 )</p> <p>・公表の方法：病院ホームページ</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
山本 修一	地域医療機能推進機構 理事 千葉大学大学院 医学研究院 眼科学前教授 千葉大学医学部 附属病院 前 病院長	○	特定機能病院 の医療安全体 制に精通	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
川崎志保理	順天堂大学医 学部附属順天 堂医院医療安 全推進部 部 長補佐		特定機能病院 の医療安全体 制に精通	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
田島 優子	さわやか法律 事務所 弁護士		法律関係に精 通	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
眞島 善幸	NPO法人 パンキャンジ ャパン代表		患者団体の役 員として医療 問題に精通	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2



荒井 保明	国立がん研究センター 理事長特任補佐		当院の前病院長として院内診療・医療安全管理体制を熟知	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	1
-------	-----------------------	--	----------------------------	---	---

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを  
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容
  
- ・ 専門部署の設置の有無 (  ・ 無 )
- ・ 内部規程の整備の有無 (  ・ 無 )
- ・ 内部規程の公表の有無 ( 有 ・  )
- ・ 公表の方法

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況                      理事会、執行役員会及び内部統制推進委員会・リスク管理委員会の整備、開催。病院長はこれらの理事会等に出席。</li>   <li>・ 会議体の実施状況（ 年 12回 ）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）（ 年 12回 ）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・<input checked="" type="checkbox"/> ）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 (年 0 件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法：新採用オリエンテーション、医療安全ポケットマニュアル</li></ul>

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● ホームページを通し、各診療科で提供している医療や先進医療の提供状況、治験実施状況、研究成果や新たな取り組みについて最新情報を随時公開した。</li><li>● がんに関する知見や研究成果、科学的根拠に基づく診断・治療法について広く国民に情報提供を行うために、プレスリリースやSNSの活用、積極的な取材対応を行い情報発信した。</li><li>● 患者さんへは、動画の配信やSNSの活用などで職員の顔が見える丁寧な情報提供を行った。</li></ul>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 主たる悪性腫瘍に対して開設されている内科・外科間の連携</li><li>2. 特化した治療（放射線治療、放射線診断、内視鏡センター、通院治療センター等）と各診療科との連携</li><li>3. 複数の悪性腫瘍や、患者の状態によって診療科間における協力が必要な場合の連携（転移がん、希少がん等）</li><li>4. その他</li></ol>	